



武蔵野音楽大学



武蔵野音楽大学ウェブサイト

<https://www.musashino-music.ac.jp/>

学校法人 武蔵野音楽学園 2024年4月19日発行 ©MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE 禁無断複写転載

武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

CAMPUS GUIDE 2025

武蔵野音楽大学

CAMPUS
GUIDE
2025



学長メッセージ Message

「〈和〉のこころ」と 「個々人の自立」を大切に

本学は、創立者の音楽教育にける強い気持ちに共鳴した多くの人々の情熱の発露が学校設立へと結びついたことから、建学の精神を「〈和〉のこころ」としています。そして、この精神は「個々人の自立」と表裏一体となって捉えられるべきであると考えています。他者を尊重し、協調しながらも、自立して問題提起や解決ができる音楽人を育成するために、我々教職員はきめ細かく丁寧な指導に努めています。

通常の大学キャンパスの枠を超えた「音楽の街」とも呼べる本学キャンパスは、重厚感と現代性とが調和し、優れた機能性とスタイリッシュなデザインを併せ持っています。ここでは、理想的な演奏・学修環境が実現しており、自身の可能性を無限に広げることができます。さらに、皆さんが在学中、学修目標を達成し大きく成長するための、さまざまな出会いや経験の場、また、学生支援の環境も整っています。

これからの時代、音楽を愛する皆さんは、各々の専門性を高めることはもちろんですが、単なる知識の習得だけではなく、問題の本質を見極める「洞察力」、解決策を発見する「創造力」、他者と意思疎通を図る「コミュニケーション能力」を高める必要があります。生成AI などでは代替できないこれらの能力によって、答えのない問題や未知の課題に遭遇した際、広い視野を持ってそれらに対峙していけるからです。

皆さんは、未来の正確な予測が困難な時代を生き抜いていかなければならなくなりました。しかし、いかに人々の生活環境が変わろうとも、音楽芸術に心を癒され、これに明日を生きる活力を見いだすという、人間が生来持つ本性は普遍であると、私は信じています。学生諸君には、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」「人間形成」によって大作曲家の作品の真理に少しでも近づき、在学中に培った多層的な知性としなやかな感性、そして豊かな人間性を活かして、それぞれの新たな舞台へ大きく羽ばたき輝き続けて欲しいと、切に願っています。

皆さんにとって、かけがえのない時間を、武蔵野音楽大学で共に過ごしていきませんか。伝統と近代性が交差するキャンパスから、意欲あふれる皆さんを、心から歓迎いたします。



武蔵野音楽大学 学長・教授(ピアノ)
福井 直昭

ピアニスト。1970年東京生まれ、慶應義塾大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了、ミュンヘン音楽大学に留学。クロイツァー賞、ブルガリア国際音楽コンクール「Music & Earth」全部門グランプリ、ハンガリー・ジュール市記念シルバーメダル、下総統一音楽賞等受賞。国内外で20以上の著名なオーケストラと競演。録音も「レコード芸術」特選盤に選出。世界的ピアニスト ケマル・ゲキチとのデュオも常に高い評価を得ている。全日本音楽教育研究会会長、武蔵野音楽大学学長、ヴィルトゥオーゾコース長。本学楽器ミュージアム館長。

武蔵野音楽大学は

音楽芸術の研鑽と 人間形成を めざして 歴史を刻んできました

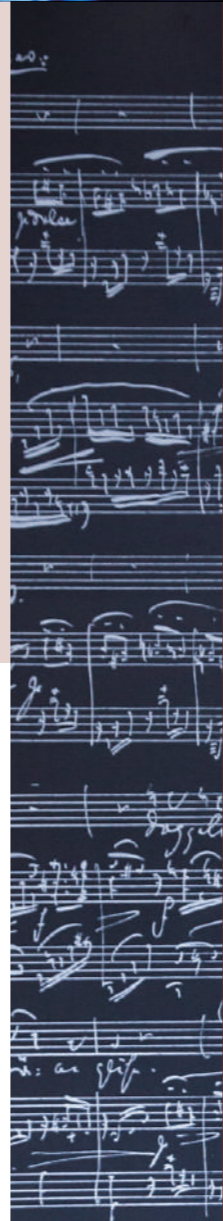
Contents

学長メッセージ	01	授業紹介	43
建学の精神と教育方針	03	教育職員一覧	49
NEWS & TOPICS	04		
沿革	05	【特集】音と過ごす学生生活	
施設紹介	06	年間行事	53
音楽学部	13	CAMPUS LIFE 武蔵野音大生の生活に密着	55
武蔵野音楽大学の学び	15	私が武蔵野音楽大学を選んだ理由	58
演奏学科	17	キャンパストピックス	59
ヴィルトゥオーゾコース	19	大学院・別科	63
器楽コース(有鍵盤器専修)	21	進路状況	64
器楽コース(管楽器専修)	23	キャリアサポート	65
器楽コース(打楽器専修)	25	卒業生の活躍	67
器楽コース(弦楽器専修)	27	夢に向かって羽ばたく新卒業生	73
声楽コース	29	学費・奨学金等	75
音楽総合学科	31	免許・資格	77
作曲コース	33	入学者選抜ガイド	79
音楽学コース	35	2024年度 講習会・イベント情報	81
音楽教育コース	37		
アートマネジメントコース	39		
客員・特別招聘教授メッセージ	41		



建学の精神と教育方針

武蔵野音楽大学は、
建学の精神を
「〈和〉のこころ」と定め、
教育方針として
「音楽芸術の研鑽」と
「人間形成」を掲げています。



わが国で、音楽教育の基盤がまだ弱体であった昭和4（1929）年、その普及と向上に強い情熱をもって取り組んだ創立者 福井直秋と、その教育理念に共鳴する多くの協力者、教職員、生徒たちの強い「和」によって本学は創設されました。また、深遠な音楽美の追究と豊かな人格の形成は、相高めあうものであるという創立者の信念から、本学は、「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を創立以来の一貫した教育方針としています。

さらに、この「建学の精神」と「教育方針」に従い、「礼儀 (Propriety)」、「清潔 (Purity)」、「時間厳守 (Punctuality)」の3つに基づく生活の規範を「3P主義」と呼び、平素の生活において、学生のみならず教職員にも実践することを求めています。



NEWS & TOPICS

武蔵野音楽大学学生レジデンス「Flügel」誕生！

フリューゲル



2024年、新たな女子寮が誕生しました。一般的な学生寮のイメージを覆す高級感とスタイリッシュさで、あたかもマンションのような建物となります。大学キャンパスへは徒歩3分以内にあり、全室個室でプライベートな空間を確保しつつ、一人暮らしでは得られない広い共用スペースを完備しています。

朝夕の食事付き（銀座スエヒロ提供）で、寮内には冷暖房を完備した快適な練習室を用意しました。エントランスにはオートロックシステムを採用し、非接触ICタグ付キーをかざすだけで自動ドアを解除できます。建物周りには防犯カメラを設置して、セキュリティを高めています。

各居室にバス・トイレ別で設置され、室内にはエアコン・ベッド・照明・机・椅子・冷蔵庫・洗濯機・インターネット環境が標準装備されており、入寮後すぐに快適な寮生活を送ることができます。

さらに不在時でも宅配の受け取りができる宅配ボックスを設置し、エントランスの集合玄関や住戸内のインターホンに着荷が表示され、24時間受け取りができます。

食堂・ラウンジは中庭に向けた開放感のある明るい空間で、快適なネット環境を有し、食事以外にも勉強やミーティングなど多くの寮生が集まるコミュニケーションを育む場ともなります。食堂の外に広がる中庭は、緑あふれる開放的なオープンテラスとして、読書や談笑できるスペースとなっています。

音楽は時間というプラットフォームの上で、さまざまな音の組み合わせや抑揚によりシーンの変化を引き起こし奥行きを生み出しています。そこから生み出されるさまざまなシーンを空間に落とし込むことで音楽の美しさを具現化し「音楽と空間を行き来する」——これが本寮の設計コンセプトです。



附属高等学校 2027年4月 東京都新キャンパスに移転（予定）

（東京都認可申請手続き中／学校設置計画承認済）

武蔵野音楽学園は、間もなく創立100周年を迎えます。

これを大きな契機として捉え、将来を見据えた上での更なる教育活動の充実のために、附属高等学校を2027年4月に埼玉県入間市から東京都練馬区へ移転します。

移転にあたり、江古田にある武蔵野音楽大学から徒歩3分に位置する新校舎を建設し、また新時代の都市型専門技術教育の在り方を提案しながら、音楽教育のフロンティアへ向かって、新たなキャンパスで生まれ変わります。



HISTORY

わが国初の音楽大学として

未来へと奏でる力



MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE
武蔵野音楽大学 沿革

- 1929 東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷に仮校舎を借りて武蔵野音楽学校創立事務所を設け授業開始
武蔵野音楽学校設置認可
江古田キャンパス校舎落成  江古田キャンパス校舎落成(1929)
- 1942 教員無試験検定取扱いの許可学校として指定される
- 1949 武蔵野音楽大学(音楽学部)器楽学科、声楽学科および作曲学科設置認可 福井直秋、学長に就任
- 1951 財団法人武蔵野音楽学校から学校法人武蔵野音楽学園へ組織変更 福井直秋、理事長に就任  江古田キャンパス 2・3号館落成(1957)
- 1960 コンサートホール「ベートーヴェンホール」落成(江古田キャンパス)
- 1962 福井直弘、学長に就任
- 1964 大学院音楽研究科修士課程に器楽専攻、声楽専攻および作曲専攻設置認可
- 1967 武蔵野音楽大学楽器博物館開設 
- 1973 武蔵野高等学校(全日制課程音楽科)設置認可(2005年武蔵野音楽大学附属高等学校に校名変更)  ベートーヴェンホール 落成(1960)
- 1979 コンサートホール「バッハザール」落成(入間キャンパス)
- 1981 福井直俊、理事長に就任 福井直敬、学長に就任  バッハザール落成(1979)
- 1993 武蔵野音楽大学バルナソス多摩開設
コンサートホール「シュペルトホール」落成  バルナソス多摩開設(1993)
- 1998 福井直敬、理事長に就任
- 2004 大学院音楽研究科博士後期課程設置
- 2006 音楽学部 to ヴィルトゥオーソ学科設置  江古田新キャンパス竣工(2017)
- 2007 音楽学部 to 音楽環境運営学科設置 学芸員課程設置
- 2010 大学院音楽研究科修士課程 to ヴィルトゥオーソコース設置
- 2017 江古田新キャンパス竣工
音楽学部 to 演奏学科、音楽総合学科設置 
- 2018 大学院音楽研究科修士課程 to ピアノコラボレティヴアーツコース設置
- 2020 福井直昭、学長に就任
- 2021 武蔵野音楽大学楽器ミュージアム リニューアルオープン
- 2024 学生レジデンス「Flügel」竣工

諸芸術の中で人種、言語の別を越え、概念の領域を超脱して直さいに人間の本能に訴え、和親相愛の心情をたかめ、崇高純美の気迫を培い得る力を最も大きく内包するものは音楽芸術であるといえよう。

(1945年 創立者論文「再建日本と音楽」より)

創立者
初代理事長・学長
福井 直秋



FACILITY

大学キャンパスの枠を超えた

刺激する音楽の街

江古田キャンパス

伝統と先進が響き合う未来へ

本学では2017年度よりさらなる教育・研究環境の向上を目指し、国内初の本格的コンサートホール「ベートーヴェンホール」以外のすべての校舎を建て替えた江古田キャンパスに、大学の教育・研究活動の場を統合しました。建学の精神である「(和)のこころ」を具象化し、「音楽芸術の研鑽」「人間形成」の場としての魅力にあふれた、最新のキャンパスです。

LISZT PLAZA

EKODA CAMPUS

リストプラザ

多彩な交流を促進する
「キャンパスのコア」

キャンパス中央、地下1階に掘り下げたリストプラザは、キャンパスレストランや図書館、楽器ミュージアムなどに囲まれた集いの中心として、学生たちの新しい交流を生み出しています。また、楽器ミュージアムに面する西側に、ジュール・フィリップ・ハーモニー管弦楽団より寄贈されたフランツ・リスト像が設置されています。

3つのコンサートホール

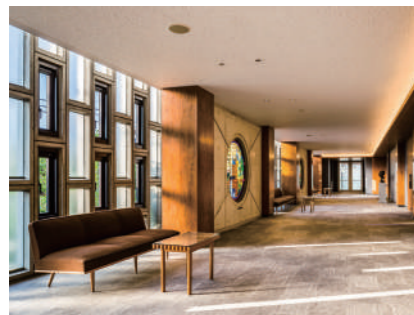


ベートーヴェンホール

音響特性を変えずに再オープンした日本初の本格的なコンサートホール

1960年に日本で初めての本格的なコンサートホールとして生まれたベートーヴェンホールは、音響効果の良いホールとして国内外から注目を集め、音楽ファンにも長年親しまれてきました。記念碑的な存在である日本初のコンサートオルガンのほか、オーケストラピットやオペラ上演のための舞台機構なども有しています。新校舎群竣工にあわせた2017年の大改修は、本学ならびに日本のコンサートホールの歴史を象徴する存在としての役割を継続し、長年慣れ親しんだ雰囲気、音響特性を可能な限り変えないことをコンセプトとしました。具体的には、建築構造の補強とホール天井の落下防止対策による耐震化、防災設備の設置等を施すことで現在の基準を満たす安全性を確保したほか、静粛性の向上、空調・衛生・照明・舞台等機器の更新、バリアフリー化（エレベーターや車椅子利用者用客席の設置）、各階ホワイエを中心とした内装リフレッシュ等を行い、より安全で使いやすい施設に生まれ変わりました。客席数は1,043席です。

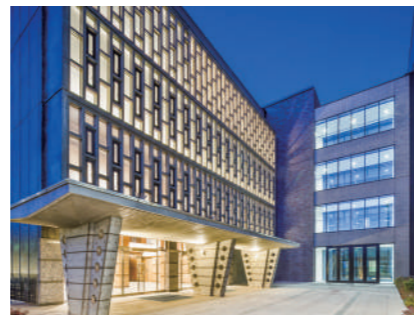
一般財団法人日本建築防災協会主催2019年度耐震改修優秀建築・貢献者表彰において、日本建築防災協会理事長賞、ならびに耐震改修優秀建築賞を受賞しました。



ベートーヴェンホールホワイエ



江古田新キャンパス竣工記念特別演奏会
ケマル・ゲキチ×福井直昭 ピアノデュオリサイタル



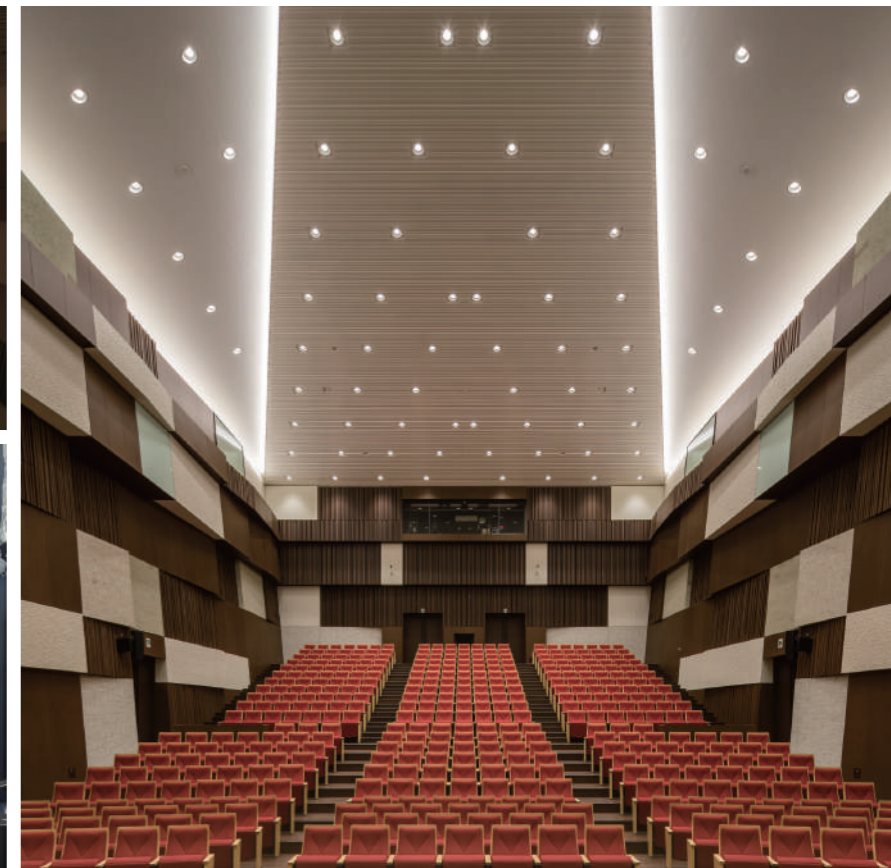
ベートーヴェンホール外観



ブラームスホール舞台



ブラームスホールホワイエ



ブラームスホール

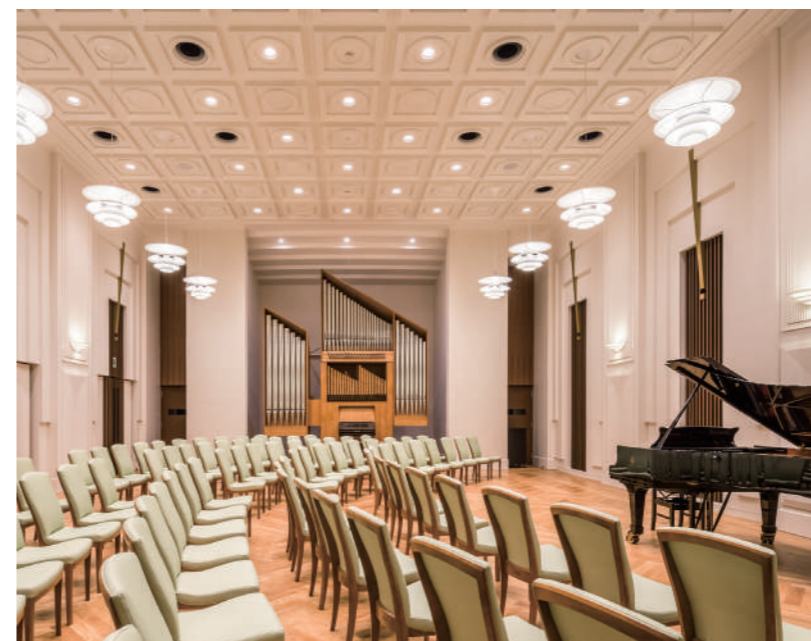
最新の音響設計に基づいた意欲的なデザインの中ホール

世界的な建築音響コンサルタントである永田音響設計の監修による最新の音響設計に基づいた意欲的なデザインの中ホールです。客席数は423席です。御影石や大谷石などの伝統的な材料に、異なる音響特性を持った近代的な材料を組み合わせることで新しい響きを実現し、演奏者と聴衆のドラマティックな一体感を生み出しています。ホワイエの吹き抜けに設置されたクリスタル照明は旧校舎から引き継がれたものです。

モーツァルトホール

クラシカルでありながらモダンな印象を合わせ持つヨーロッパのサロン風ホール

本学3代目となる「モーツァルトホール」は、リサイタル・室内楽用の約100席のホールで、学生がお互いを触れ合う場として活動できる使い勝手の良いホールです。いかにも練習用ホール然としたものではない、通常の授業とは違うハレの場とすることで学生の意欲を最大限に引き出すことを目指し、クラシカルでありながらモダンな印象も合わせ持つヨーロッパのサロンをイメージしました。正面には2代目モーツァルトホールから移設した伝統あるパイプオルガンを据えつつ、自由な演奏形式に対応した設備を備えて学生の多様なニーズに応えます。また、2代目のロビーにあったモーツァルト像（ウィーン国立芸術大学より寄贈）をホール内に設置しています。



充実した多彩な施設

3つのリハーサルホール

編成・演奏の特性を考慮し室形状が最適化された大規模練習ホール

オーケストラ、大合唱、ウィンドアンサンブル（吹奏楽）のための大規模な各専用リハーサルホールは、賑わい空間であるリストプラザから離れた3つのコンサートホールに隣接し、互いに連携した利用が可能です。各ホールは、室内音響に配慮して壁・天井の平行面を排した本格的なデザインで、それぞれの編成の特性を考慮し室形状が最適化されているほか、吸音カーテンにより本番で利用するホールに合わせた響きに調整可能です。また仕上げや色彩を変えることで、各ホールの個性が際立つよう配慮しています。



ウィンドアンサンブルホール



オーケストラホール



コーラスホール



メインロビー

さまざまな人が行き交う開放感あふれる空間

アトリウムから連続した事務部門や掲示コーナーがある2層吹き抜けのメインロビーは、ガラス張りによってリストプラザと一体になった開放感あふれる空間で、さまざまな人が行き交う待ち合わせにも最適なスポットです。

図書館

それぞれ特徴を持つ3層構成による快適で居心地の良い知的空間

総合受付カウンターが設置されたメインフロア（1階）、吹き抜け階段添いにある大壁面書架を經由した上階にある豊富なAV資料を中心としたサイレントフロア（2階）、そしてラーニングcommonsとグループ学修室によるオープンな雰囲気のアクティブフロア（B1階）の3層構成。計約30万点の所蔵音楽資料は、ICT技術を使ったシステムにより、いつでも利用することができます。



レッスン室

レッスン室は教員と学生の1対1の真剣な教育、対話の場です。対話やリフレッシュのためのラウンジが随所に設けられ、さまざまな印象の共用空間としてデザインされています。

録音スタジオ

五重奏程度の編成までの録音が可能で録音スタジオは、プロユースにも耐えられ、さまざまな機材は、操作に関する授業等に使用されます。



展望ラウンジ“Bis”

校舎最上階の展望ラウンジからは富士山や東京スカイツリーをはじめとする一大パノラマが楽しめ、学生と教職員の話の場となっています。また、レセプションやパーティーなどにも活用されています。



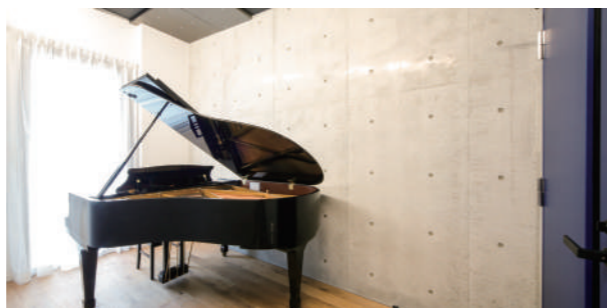
キャンパスレストラン“Intermezzo”

自然光を取り入れたレストランは、「銀座スエヒロ」が運営を手掛けるカフェテリア形式。ケリー・レモン氏のイラストが描かれた店内からは、四季の変化やキャンパスの賑わいを感じられます。



練習室

全118室あり、さまざまな規模・形態・特性に応じた最適な音響環境を完備しています。



ヴェルディロビー

ヴェルディ像があるロビー周辺には、ヤマハ銀座店 武蔵野音大ショップ、コピーコーナー、学生用掲示板が設置され、学生にとってキャンパスのリビングのような空間です。



ヤマハ銀座店 武蔵野音大ショップ

楽譜を中心とした音楽ソフト商材に加え、楽器付属関連商品も充実させています。また学生が日常で必要とする一般雑貨商品も提供しています。



パッサザール（人間キャンパス）

人間キャンパスの緑に映える美しいレンガの建築美と、柔らかな音色と響きを生み出す綿密な音響設計が施された客席数1,202席のホールです。120人のオーケストラと200人の大合唱の同時演奏が可能であり、オルガンはドイツのクライス社製67ストップ、同社の1981年最大の作品です。



シューベルトホール（バルナソス多摩）

楽器ミュージアム

古今東西の楽器が一堂に集結

日本最大級の楽器コレクション「武蔵野音楽大学楽器ミュージアム」では、世界各地の楽器を公開しています。楽器は4つの展示室に分けられ、美しく分かりやすく展示されています。楽器ミュージアムは、大学と社会をつなぐ窓口として一般にも開放しています。



PICK UP 撮影協力

武蔵野音楽大学のキャンパスは映画やドラマ等のロケ地として使用されているほか、さまざまな作品の撮影に協力しています。

【撮影に協力した主な作品】

映画	ドラマ	その他
「ディア・ファミリー」 (2024年6月14日公開予定)	テレビ朝日「ケイジとケンジ、時々ハンジ。」	NHK連続テレビ小説「らんまん」ファンミーティング ※開催協力・学生出演
「プライベート・群青戦記-」	日本テレビ「リバーサルオーケストラ」	日本テレビ「ZIP!」※学生出演
「蜜蜂と遠雷」	Netflixシリーズ「First Love 初恋」	NHK Eテレ「クラシック音楽館」 ※「NHK Classic Fes.2023」学生出演
「羊と鋼の森」	テレビ東京「真夜中にハロー」	宝くじ「クイックワン」CMオーケストラ篇
「あさひなく」	テレビ朝日「和田家の男たち」	オリジナルTVアニメ「夜のクラゲは泳げない」 ティザーPV第2弾※学生出演
	日本テレビ「ウチの娘は、彼氏が出来ない!!」	モデルナジャパンドキュメンタリー映像※学生出演
		テレビ朝日「ノブナカなんなん?」
	Amazon Originalドラマ「ホットママ」	テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」
	テレビ朝日ドラマスペシャル「スイッチ」	日本テレビ「1周回って知らない話」
	テレビ朝日「BG-身辺警護人〜」※学生出演	日本テレビ「news every.」
	NHK連続テレビ小説「エール」 ※資料協力、学生出演	フジテレビ「KinKi Kidsのブンブブーン」
	TBS「IQ246〜華麗なる事件簿〜」	
	TBS「仰げば尊し」	
		ジェイコムテレビ(Jテレ)「快決 中尾ミエ! 悩みなんて歌って吹き飛ばしちゃいなさい」
		NHK「クラシック倶楽部」
		テレビ東京「シナぷしゅ」
		伊藤あさひフォトブック「22」
		集英社「non-no」2023年5月号



ベートーヴェンホールにて開催されたNHK連続テレビ小説「らんまん」ファンミーティングin練馬の様子 左:ゲストの要潤さん、伊礼彼方さん 右:本学学生によるオープニング演奏

EDUCATION

世界に通用する人材を育成する

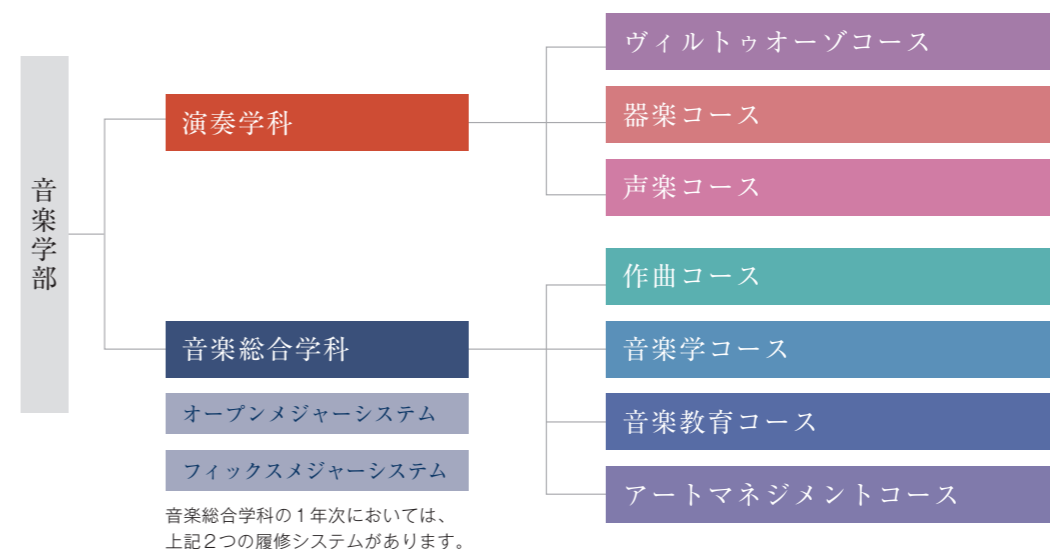
新たな学びの形



音楽学部

高い専門性と深い教養を身につけ

世界に通用する人材を育成するために組織された2つの学科



2つの学科では、専攻実技や専門分野の科目を充実させることはもちろん、音楽理論や音楽史などの基礎科目の充実、徹底を図るとともに、学生のさまざまな進路に応じて、専門科目や自由科目を横断的に履修する選択肢を拡げています。本学では「音楽芸術の研鑽」とともに「人間形成」を教育方針としており、さまざまな行事、正課外活動、サークル活動、寮生活などを通し、「人間形成」のための教育も充実させています。



音楽学部(学士課程)の教育研究目的

武蔵野音楽大学音楽学部は、本学の教育方針「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に基づき、専攻分野における専門的知識と技術を修得させるとともに、共通の基礎専門教育としてソルフェージュ・音楽理論・西洋音楽史等の基礎的知識、ならびに広い視野に立って総合的な考察をするために必要な外国語科目・教養科目(保健体育を含む)を教授研究する。また、さまざまなコンサート・オーディション・研究発表等の実践活動への参加、ならびに実習・課外学修・インターンシップ等の現場体験を積ませる。これらの教育研究を通して、思考力・判断力・表現力を磨き、芸術的創造力を養い、さらに、専門家を目指して真摯に音楽活動に取り組む意欲を高めて、演奏家、作曲家、研究者、教育者、芸術活動に関わる企画・運営等に携わる者として、多様な社会の要請に応え、文化芸術活動に貢献する人格豊かな人材を育成することを目的とする。

武蔵野音楽大学の学び

演奏学科

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目/選択科目	ヴァルトウオーズコース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/初見演奏法/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/レパートリー研究/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/演奏ゼミナール/即興演奏入門/オーケストラスタディ/オペラ基礎演技 など	専攻実技/卒業演奏/ピアノアンサンブル研究/管弦楽/オペラ基礎演技 など
	器楽コース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/伴奏法基礎/管打楽器合奏/管弦楽 など	専攻実技/即興演奏入門/オーケストラスタディ/管打楽器合奏/管弦楽/鍵盤音楽史 など	専攻実技/卒業演奏/オーケストラスタディ/管打楽器合奏/管弦楽 など
	声楽コース	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/声楽アンサンブル/混声合唱 など	専攻実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史/ディクシオン/室内合唱/混声合唱 など	専攻実技/混声合唱/室内合唱/オペラ基礎演技/オペラ重唱 など	専攻実技/卒業演奏/混声合唱/室内合唱/オペラ基礎演技 など
必修科目	全コース共通	外国語科目 英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。	
		教養科目 キャリアデザイン(導入編)	キャリアデザイン(展開編)		
+					
自由科目					

		1年次	2年次	3年次	4年次		
必修科目/選択科目	オープンメジャーシステム	基礎科目	音楽の世界史 音楽心理学(基礎) 現代社会と音楽 現代と音楽ビジネス 音楽指導実践(基礎) ポピュラー・カルチャー論 デジタルメディア進化論 ビジネスマナーと コミュニケーション能力 音楽アナリーゼ(基礎) 音楽アナリーゼ(発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	作曲 2年次に「音楽基礎理論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの作曲コースと同じ科目	音楽学 2年次に「音楽学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽学コースと同じ科目	音楽教育 2年次に「音楽教育学概論」を履修、他はフィックスメジャーシステムの音楽教育コースと同じ科目	マネジメント 2年次に「アートマネジメント研究(基礎)」を履修、他はフィックスメジャーシステムのアートマネジメントコースと同じ科目
		作曲コース	作曲法/ピアノ/ソルフェージュ/西洋音楽史/記譜法/音楽基礎理論 など	作曲法/映像音楽概論/DAW/オーケストレーション など	作曲法/創作応用研究/DAW/オーケストレーション など	作曲法/創作応用研究/卒業作品/楽曲アナリーゼ など	
		音楽学コース	音楽学概論/ピアノ/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史 など	音楽学研究/楽書講読/日本音楽史 など	音楽学研究/楽書講読/特別演習/音楽美学 など	音楽学研究/音楽ジャーナリズム論/総合演習/卒業論文 など	
		音楽教育コース	音楽教育学概論/基礎実技/ソルフェージュ/和声/西洋音楽史 など	音楽教育史/音楽指導実践研究/アンサンブル指導法 など	音楽指導実践研究/音楽実技/音楽心理学研究 など	卒業論文演習/卒業論文/生涯教育・社会福祉と音楽 など	
	アートマネジメントコース	アートマネジメント研究(基礎)/音楽実技/西洋音楽史 など	アートマネジメント研究(応用)/舞台技術概論 など	アートマネジメント実習/コンピュータ音楽実習 など	アートマネジメント研究(応用)/企画制作演習/卒業論文 など		
必修科目	両システム全コース共通	外国語科目 英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	英語/基礎ドイツ語、基礎イタリア語、基礎フランス語よりいずれか1科目	3、4年次の外国語科目は自由科目です。			
		教養科目 キャリアデザイン(導入編)	キャリアデザイン(展開編)				
+							
自由科目							

※必修科目、選択科目のうち、専門科目はコース(専修)ごとに指定されています。詳細は各コース(専修)のページ(演奏学科は17ページ以降、音楽総合学科は31ページ以降)を参照してください。

授業科目は「必修科目」「選択科目」「自由科目」に区分しています。「必修科目」は必ず修得しなければならない科目のこと、「選択科目」は指定された科目群から所定の単位数以上を修得する科目のこと、「自由科目」はすべてのコースを対象として開講されている科目群から自由に履修できる科目のことです。なお、各授業科目は「専門科目」「外国語科目」「教養科目」「基礎科目」のカテゴリーに分けられています。

各授業は適切な人数で受けられるようクラスを編成しており、ソルフェージュ、英語などは、学年ごとに習熟度別のクラスを編成し学修効果の向上を図っています。

また、教育職員免許状を取得するための教員免許課程、学芸員の資格を取得するための学芸員課程があります。

		1年次	2年次	3年次	4年次		
全コース共通	専門科目	ミュージカル入門 メンタルトレーニング入門 音楽療法入門 舞台芸術概論	スコアリーディング オルフの音楽教育 音楽イノベーション 合奏 和楽器 日本伝統歌唱	伴奏法 指揮法 吹奏楽指導法研究 ピアノ指導法研究 合唱指導法研究	鍵盤音楽史 管弦楽史 歌曲史 オペラ史 宗教音楽史 通奏低音	室内楽・重奏*(ピアノ/木管楽器/金管楽器/弦楽器) 様々な音楽の演奏実践(西洋古楽/雅楽/箏曲) 声楽伴奏法(ピアノ)* オペラ* 指揮* チェンバロ演奏法* *印のついた科目は、履修者選抜のためのオーディションがあります。	
	外国語科目	1、2年次の外国語科目は必修科目です。		コミュニケーション英語リーディング&ライティング英語	基礎ドイツ語 基礎イタリア語 基礎フランス語	ドイツ語会話 ドイツ語講読 イタリア語会話	イタリア語講読 フランス語
	教養科目	哲学 美学 音と響きの科学 自然科学概論	日本演劇文化論 日本語表現法 文化史	ヨーロッパの歴史 ヨーロッパの文学 ヨーロッパの美術史	日本国憲法 生活と法	経済学 会計の基礎 コンピュータ・リテラシー	スポーツ スポーツ教養演習
	基礎科目	音楽の世界史 音楽心理学(基礎) 現代社会と音楽	現代と音楽ビジネス 音楽指導実践(基礎) ポピュラー・カルチャー論	デジタルメディア進化論 ビジネスマナーと コミュニケーション能力		音楽アナリーゼ(基礎) 音楽アナリーゼ(発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	

武蔵野音楽大学では、建学の精神および教育方針に基づき、入学に際して求めている学修意欲と能力をアドミッション・ポリシーに定めています。そして、この方針に則り、公正かつ妥当な入学者選抜を行い、国内外から広く学生を受け入れています。

アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

武蔵野音楽大学の建学の精神「(和)のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学者選抜によって選抜します。

- 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。
- 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。
- 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。

詳細はこちらのQRコード、URLからご覧ください。



https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/admission_policy

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全2学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に適うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。

- 1 授業科目は原則として4学年を8つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成します。
この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とします。
- 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませます。
また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行います。
- 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入します。
また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行います。
- 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ3年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設けます。

詳細はこちらのQRコード、URLからご覧ください。



https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/curriculum_policy

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

武蔵野音楽大学音楽学部(学士課程)の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士(音楽)の学位を授与します。

- 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力(演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力)を身につけている者。
- 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。
- 3 自ら考え、創造する能力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。

詳細はこちらのQRコード、URLからご覧ください。



https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/department1/diploma_policy

演奏学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC PERFORMANCE

ヴィルトゥオーゾコース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽 P.19

器楽コース
有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器 P.21

声楽コース P.29

高い専門性と豊かな表現力 ～演奏する身体を意のままに操る喜び

能力や個性に合わせた密度の濃いレッスン
高度な技量と音楽性を身につけ、演奏会やコンクールに挑む

演奏学科の特徴

能力や個性に合わせて質の高い学びを追究

演奏学科のヴィルトゥオーゾ、器楽、声楽の3コースでは、それぞれのコースで能力や個性に合わせた個人レッスンが行われています。優れた指導者による密度の濃い充実したレッスンによって、学生一人ひとりが高度な技量と音楽性を身につけることができます。さらに、本学では海外から著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などを実施しています。これらは専門分野の技術向上に役立つだけでなく、演奏学科の学生にとって専攻を超えた幅広い視野を獲得することができる絶好の機会となっています。

舞台での演奏が多数経験できることも、演奏学科の特徴の一つです。コース別に演奏会形式の公開試験を実施し、さらに学内外のホールでは、オーケストラや合唱団、ウィンドアンサンブルの定期公演のほか、数々の合奏・オペラ授業の発表、国内外への演奏旅行もあります。このような機会は学生たちにとって貴重な経験であると同時に、これらを目指して研鑽を積むことが各々の技術を格段に向上させることにつながっています。

演奏学科の学生には4年間の集大成としてベートーヴェンホールでの「卒業演奏」が課せられます。この演奏で優秀な成績を修めた学生は、本学卒業演奏会への出演のほか、本学主催あるいは一般社団法人主催の新人演奏会などに出演することができます。

卒業後の 進路例

- 大学院進学
- 海外留学
- 演奏家
- 指揮者
- オーケストラ団員
- 伴奏ピアニスト
- コレペティートル
- オペラ歌手
- 合唱団員
- ミュージカル歌手
- 音楽隊隊員
(自衛隊・警察等)
- サウンド・クリエイター
- 大学教員
- 小学校・中学校・
高等学校教員
- 音楽教室講師
- 吹奏楽指導者
- 音楽系企業
- 音楽出版社
- 民間企業

NEW

「第2副科」の制度を新設

演奏学科のカリキュラムには副科実技(ピアノ・声楽)が従来から設定されています。この副科実技の他に、2024年度よりさらに別の副科実技の個人レッスンを有料オプションで履修できる「第2副科」の制度が設けられます。例えば、ヴァイオリン専攻の学生が、副科ピアノの他に、ヴィオラを履修できたり、ピアノ専攻の学生が、声楽や他の楽器を個人レッスンで履修できます。なお、この「第2副科」の単位は第3年次進級基準及び卒業要件に含みませんので、履修は自由となります。各自の関心や必要に応じて本学ならではの多彩で専門的な副科実技の制度を、大いに活用してください。



ヴィルトゥオーゾ コース

世界というステージで活躍する、プロの演奏家への途

有鍵盤器専修

管楽器専修

打楽器専修

弦楽器専修

声楽専修



コースの特徴

POINT 1 実技教育に特化した
プロの演奏家を育てるコース

イタリア語で「音楽の名手」、「芸術（音楽）の技術に優れた人」を意味する「ヴィルトゥオーゾ」を冠した本コースでは、プロの演奏家を育てるための実践本位のカリキュラムが組まれています。器楽、声楽ともにプロとしての演奏活動の根幹となる豊かな専門知識と演奏技術を身につけることができます。また、数多くの演奏会は、日頃の成果を発揮する場としてはもちろん、課題を見据え、目標を設定するための重要なステップでもあります。さらに海外の著名な演奏家・指導者を客員教授として招き、随時特別レッスンや公開講座、演奏会などもあり、まさにヴィルトゥオーゾへと続く道が整えられています。

POINT 2 実践本意のカリキュラム
夢を実現しようとする学生をサポート

ヴィルトゥオーゾコースでは、国内外の優れた講師による充実した専攻実技レッスン(90分)を受けることができるほか、専攻に応じた合奏・室内楽・合唱・重唱などの授業や、「レパートリー研究」「演奏ゼミナール」といった実学の詰まった科目が必修として組み込まれています。さらに、リサイタル形式の公開演奏試験や選抜学生による「ニュー・ストリーム・コンサート」など、学内のホールや都内の著名なホールを使用した実践的な舞台経験も、年間を通し数多く行われます。ホールでの演奏経験は高度な演奏能力と多くのレパートリーの体得につながり、夢を実現させるための大きな力となります。

専門科目

必修科目

専攻実技
卒業演奏
レパートリー研究
演奏ゼミナール
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

初見演奏法【ピアノ】
伴奏法基礎【ピアノ・オルガン】
通奏低音【オルガン】
ピアノアンサンブル研究【ピアノ】
即興演奏入門【ピアノ・オルガン】
即興演奏法【オルガン】
ピアノ【オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽】
声楽(教職)【ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器】
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ

和声

対位法
楽式
楽器学
鍵盤音楽史【ピアノ】
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論
管弦楽【管楽器・打楽器・弦楽器】
管・打楽器合奏【管楽器・打楽器】

管楽合奏【管楽器】

打楽器合奏【打楽器】
弦楽合奏【弦楽器】
オーケストラスタディ【管楽器・打楽器・弦楽器】
室内楽【弦楽器】
声楽アンサンブル【声楽】
室内合唱【声楽】
オペラ基礎演技【声楽】
オペラ重唱【声楽】
ディクシオン【声楽】
(ドイツ語・イタリア語・フランス語)

※上記科目とあわせて15~16ページ掲載の科目を履修します。 ※【】内記載の専攻のみ履修可能。

PROFESSOR'S MESSAGE

失敗した悔しさを味わうことが、
人生をより豊かなものに

福井 直昭 学長 ヴィルトゥオーゾコース長・教授(ピアノ)

音楽家には日々の継続した練習・努力が必要で、孤独な作業を強いられることも多々ありますが、今やるべきことをやり抜くことは、自身の潜在能力を開花させる大きな原動力となります。そして、本番で成功した喜び、いや、むしろ失敗した悔しさを味わうことこそ、結果的に次のステップへつながるだけでなく、人生をより豊かなものにします。皆さんが、本学においてできるだけ多くの達成感や充実感を味わいながら、少しでも大作作曲家たちの作品の真理に近づけるよう、我々教職員は、本学が誇る施設・設備の中、全力でサポートしていきます。

PROFILE: 慶應義塾大学経済学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修士課程修了、ミュンヘン国立音楽大学留学。クワイター賞、ブルガリア国際コンクール「Music & Earth」全部門グランプリ大賞等受賞多数。ブルガリア国立放送交響楽団など著名なオーケストラや指揮者と協演。武蔵野音楽大学学長。



永岡 信幸 教授(ピアノ)



山本 正治 特任教授(クラリネット)



佛坂 咲千生 教授(トランペット)



吉原 すみれ 特任教授(打楽器)



水野 佐知香 特任教授(ヴァイオリン)



小畑 朱実 教授(声楽)

STUDENT'S MESSAGE

演奏家としての礎を築く
充実したカリキュラム

曾田 美音 ヴィルトゥオーゾコース ピアノ専攻3年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身

ヴィルトゥオーゾコースの実技試験は、全て公開試験となっています。リサイタル形式で行うため、お客様の前で演奏する機会が増え、自分が演奏家であるという自覚が高まります。さらに、一度の試験で長時間のプログラムを組むため、卒業するまでに多くのレパートリーを得ることができます。また、演奏解釈研究や曲目構成などを学ぶ実践的な必修科目があり、プロの演奏家になるために必要な専門知識を身につけることができます。



器楽コース

有鍵楽器専修

ピアニスト、オルガニストとしての高度な演奏へ結実
プロの音楽家になるチャンスも

開講している専攻楽器

ピアノ/オルガン



コースの特徴

POINT
1

【ピアノ専攻】

多彩な授業によりさらに高度なピアノ演奏へ、
協奏曲を演奏するチャンスも

基本となるソロのレパートリー修得に加え、1、2年次では「初見演奏法」、「伴奏法基礎」などを、3、4年次では「ピアノアンサンブル研究」や「即興演奏入門」を学び、それまで培ってきたピアノ技術をより高度な演奏へと結実させるカリキュラムが組まれています。進路に応じて「ピアノ指導法研究」や「室内楽・重奏」などを自由科目から選ぶことができるほか、ソリストオーディションで選ばれた学生は、毎年国内外で行っている本学管弦楽団演奏会において協奏曲を演奏できるチャンスがあります。

POINT
2

【オルガン専攻】

オルガン専攻独自のカリキュラムと、
6台のパイプオルガンで演奏法を修得

本学には、小型から大型まで6台のパイプオルガンがあり、特に江古田キャンパスのベートーヴェンホールと入間キャンパスのバツハザールにあるオルガンは国内最大級のスケールです。学生はこれらのオルガンをレッスンで使用し、幅広い時代のレパートリーを学ぶことができます。また、バロック音楽の基礎となる「通奏低音」や「即興演奏法」などオルガン専攻ならではの授業もあり、合唱やオーケストラとの共演も含め、総合的なオルガン演奏の知識と技術を体得できます。

専門科目

必修科目

【ピアノ専攻】
専攻実技
卒業演奏
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史
鍵盤音楽史

選択科目

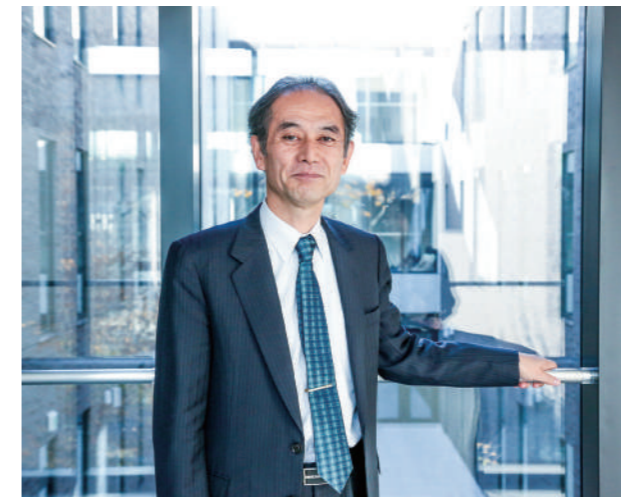
【ピアノ専攻】
専攻実技
卒業演奏
ピアノ
通奏低音
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

ソルフェージュ
和声
対位法
楽式
楽器学
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

【オルガン専攻】
伴奏法基礎
即興演奏入門（ピアノ）
即興演奏法（オルガン）
レパートリー研究
ピアノ
声楽（教職）
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ

和声
対位法
楽式
楽器学
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。



PROFESSOR'S MESSAGE

音楽にあふれたキャンパスで、
感性を磨き技術の研鑽を

田代 慎之介 演奏学科長 器楽コース長・教授（ピアノ）

江古田キャンパスは、リストプラザを中心に学生たちの若いエネルギーが明るく光りを放っていて、いつも音楽にあふれています。きめ細やかな個人レッスンとともに、アンサンブルや伴奏法などの実践的な授業、また、学生によるコンサートなどの演奏機会も設けられた充実したカリキュラムのもと、専門分野の研鑽と同時に、音楽の真の美しさを感じ取る感性を磨き、長き生涯にわたり音楽を自らの支えにできる基盤を形成してください。

PROFILE: 東京藝術大学、同大学院修了、クワイター賞受賞。第52回日本音楽コンクール入選、海外派遣コンクール河合賞受賞。1984～86年ハンガリー政府給費留学生としてリスト音楽院に留学。エビナル、マリア・カナルス、両国際コンクール入賞。以降、東京、札幌で定期的にリサイタルを開催。CDも多数リリースしている。



重松 聡 教授（ピアノ）



高坂 朋聖 教授（ピアノ）



小池 ちとせ 教授（ピアノ）



渡邊 規久雄 特任教授（ピアノ）



石丸 由佳 講師（オルガン）



STUDENT'S MESSAGE

奏でよう、
仲間と共に心震わす日々を

市村 和奏 器楽コース ピアノ専攻 4年
群馬県立高崎女子高等学校出身

素晴らしい先生、個性豊かで志の高い仲間たちに囲まれて、夢中になって大好きな音楽に没頭する日々を送っています。実技レッスンやアンサンブル、専門科目の授業、人前での演奏の機会、演奏会で生演奏に触れたり、多くの経験を通して音楽の喜びや素晴らしさ、また奥深さを改めて実感しています。音楽に真剣に打ち込めるこの恵まれた環境に身を置けること、そして自分を高めてくれる人たちと出会えたことに感謝して、夢に向かって一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。



器楽コース

管楽器専修

さまざまなステージでさまざまな楽器が織りなす、ソロだけでは味わえないアンサンブルの喜びを体験

開講している専攻楽器

フルート／オーボエ／クラリネット／サクソフォーン／
ファゴット／ホルン／トランペット／トロンボーン／
ユーフォニアム／テューバ



コースの特徴

POINT 1 大編成の管弦楽団・吹奏楽団で「音」を作り上げる喜び

国内外のオーケストラなどで豊かな演奏経験を持つ指導者や、現役の一流プレイヤーがレッスンを担当しています。学修の基本となるマンツーマンでのソロレッスンに加え、管弦楽やウィンドアンサンブル(吹奏楽)、管楽合奏などの合奏授業も充実しています。さらに習熟の発表機会としての演奏会では学内外のホールを使用し、大小さまざまな形式で行われています。管弦楽団やウィンドアンサンブルは、国内外への演奏旅行やレコーディングなども積極的に行い、常に高い評価を得ています。

POINT 2 プロへの夢を実現させるカリキュラム

将来オーケストラのプレイヤーを目指す学生のために、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)も開講しています。また、「室内楽・重奏」などの専門性の高い授業も選択でき、その成果をステージで発表する機会も数多く設けられています。独学では決して学ぶことのできない管弦楽・吹奏楽の合奏授業では、「自分たちだけの音」を作り上げていきます。

専門科目

必修科目

専攻実技
卒業演奏
ピアノ
管弦楽
管・打楽器合奏

管楽合奏
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

管弦楽
管・打楽器合奏
管楽合奏
オーケストラスタディ
レパートリー研究

ピアノ
声楽(教職)
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
和声
対位法

楽式
楽器学
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15~16ページ掲載の科目を履修します。

PROFESSOR'S MESSAGE

夢の実現、
そして真善美の追求
高久進 教授(フルート)

すべての学問の上には真善美があります。音楽を学ぶことは真善美の追求にほかなりません。本学では、オーケストラなどでの演奏経験豊かな講師陣のもと、演奏技術だけでなく人間的な意味でも、皆さんが将来の夢や希望を叶えるために必要な多くのことを学ぶことができます。また、仲間とともに音楽を作り上げる喜びと感動は、一生の宝となるでしょう。学んだことを生かし、演奏家、教育者、また音楽業界などでの社会貢献ができる人材を育てていきます。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。東京フルートアンサンブルアカデミーのメンバーとして海外を含む多数の音楽会に出演しCD録音、クリニックを行う。また「新しい楽器学体系」(共著)の執筆を手がける。第35・38回日本管打楽器コンクールフルート部門審査委員長、日本フルート協会常任理事。



岡崎 耕治 特任教授(ファゴット)



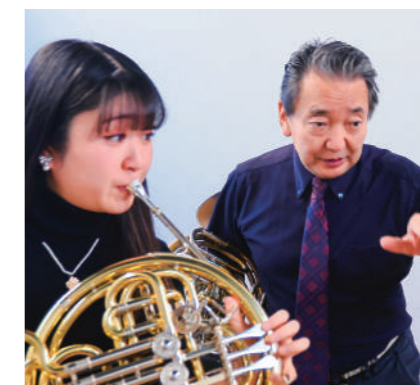
三倉 麻実 准教授(クラリネット)



栃尾 克樹 准教授(サクソフォーン)



須山 芳博 准教授(ホルン)



丸山 勉 准教授(ホルン)



吉岡 アカリ 講師(フルート)

STUDENT'S MESSAGE

自分を輝かせる術を学ぶ場所

武久 日向子 器楽コース オーボエ専攻 4年
徳島市立高等学校出身

音楽をするには、演奏技術はもちろん自分を輝かせる術を身につけることが大切だと考えています。大学生活の中でたくさんの仲間や先生方と交流し様々な形態での演奏を経験することにより、周囲との人間関係も含め、1人ではできない学びを得ています。個人レッスンや合奏の授業では、先生からのご指導のもと、自分自身の演奏技術に磨きをかけることができます。この素晴らしい環境に感謝し、自分の輝きを求めて学びを続けています。



器楽コース

打楽器専修

豊富な打楽器類と最新の充実した施設により、一人ひとりの個性を伸ばす

開講している専攻楽器

マリンバ／打楽器（スネアドラム等）／ティンパニ



コースの特徴

POINT 1 充実したカリキュラムで伸びる個性

数あるオーケストラパートの中でも最もプリミティブな楽器である打楽器は、より人間の感情が表現される楽器とも言えます。本コースの中心は、学生一人ひとりの個性を尊重し、豊かな感受性と独自の表現力を育む個人レッスン。幅広い経験を持つ指導者により、豊富な打楽器類や10室にもおよぶ打楽器専用のレッスン室・練習室を使用し、きめ細やかなレッスンが行われています。また、アンサンブル演奏の機会も多く、他楽器とのオーケストラ演奏や吹奏楽演奏、打楽器同士による複合的な表現力も身につきます。

POINT 2 さまざまなジャンルのレパートリーを拡げる

レッスンでは古典から現代までの打楽器作品の研究や、西洋音楽を中心とした幅広い演奏法が学べます。また、「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)などによって、さまざまなジャンルの作品をレパートリーにすることができます。管弦楽やウィンドアンサンブル(吹奏楽)などの合奏授業の発表の機会として著名なホールでの定期的なコンサートや国内外への演奏旅行などもあり、多彩な演奏経験を積むことで、習熟した技能を身につけています。

専門科目

必修科目

専攻実技 打楽器合奏
卒業演奏 ソルフェージュ
ピアノ 和声
管弦楽 西洋音楽史
管・打楽器合奏

選択科目

管弦楽
管・打楽器合奏
打楽器合奏
オーケストラスタディ
レパートリー研究

ピアノ
声楽(教職)
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
和声
対位法

楽式
楽器学
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15~16ページ掲載の科目を履修します。

PROFESSOR'S MESSAGE

音楽は心身への波動、打楽器はその原点。
良い波動を世界に。

中谷 孝哉 教授(打楽器)

古来より打てば響く、と言う言葉があります。鼓舞する、と言う言葉もあります。音楽は心身への波動の芸術です。打楽器はその典型であり原点とも言えます。打楽器活動は良い波動を作り、仲間と連帯し、お互いに鼓舞、躍動させる事ができます。そして、個性、アイデンティティ、多様性を大切にして、音楽をエンジョイしましょう。打楽器のできる事、そしてできない事、両方の追求が必要です。打楽器の世界を広げ、深め、豊かにする事、同時に他から必要とされる打楽器奏者になる事。チャレンジしましょう。

PROFILE: 東京藝術大学大学院修了。新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器を20年間担当。第1回日本管打楽器コンクール打楽器部門で1位。サイトウキネン・オーケストラ、ボストン交響楽団、ベルリン・フィルにも出演。オーケストラやアンサンブル等で世界18カ国にて演奏。ダヤ・チブタ・マリンバ主宰。



安藤 芳広 講師



岡田 全弘 講師



小川 佳津子 講師



黒田 英実 講師



STUDENT'S MESSAGE

大好きな音楽と
自分自身と向き合える場所

須藤 洋亮 器楽コース 打楽器専攻 4年
埼玉栄高等学校出身

個人のレッスンや仲間とのアンサンブル、また吹奏楽やオーケストラの授業演奏を通して、第一線でご活躍されている先生方のご指導を受け、専門知識を学び日々大好きな音楽と向き合っています。学内外での本番や演奏、それから自分のやりたいこと・やらなくてはならないことにしっかりと向き合い、将来を見据えて活動していきたいと考えています。また、学生生活でしか味わえない学園祭や学友会主催のイベントなどにも積極的に参加して、大いに盛り上がっています。



器楽コース

弦楽器専修

オーケストラや室内楽
多くの経験を糧に自分の音楽を成長させる

開講している専攻楽器

ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／
コントラバス／ハープ



コースの特徴

POINT 1 多様なニーズに応える
充実したカリキュラム

弦楽器のレッスンでは、国内外の一流プレーヤーが学生の音楽性と演奏技術の向上を目指して指導します。また、音楽を学ぶうえでの基礎となるピアノ、ソルフェージュ、和声、西洋音楽史などを総合的に学ぶほか、管弦楽、室内楽、重奏等、弦楽器奏者にとっての経験として欠かすことのできないさまざまな合奏授業が用意されており、将来の進路を見据えてキャリアを積むことができます。弦楽器および音楽全体に習熟した演奏家、指導者として芸術文化の発展に貢献できる人材の育成を目的としています。

POINT 2 さまざまな演奏経験で幅広い分野で
活躍できるプレーヤーを育成

本学では舞台での演奏経験を重視しており、定期的に行われるオーケストラや室内楽の演奏会をはじめ、公開での実技試験、選抜学生コンサートなど、多彩な演奏経験を積む機会が用意されています。特にオーケストラプレーヤーを目指す学生のためには、プロのオーケストラ奏者としての経験を持つ教員による「オーケストラスタディ」(管弦楽曲のレッスン)の授業も開講されています。さらに、ソリストやアンサンブルメンバーを選抜するためのさまざまなオーディションも行われています。

専門科目

必修科目

専攻実技 弦楽合奏
卒業演奏 室内楽
ピアノ ソルフェージュ
管弦楽 和声
管・打楽器合奏 西洋音楽史
〔コントラバス、ハープ〕

選択科目

管弦楽
管・打楽器合奏
〔コントラバス、ハープ〕
弦楽合奏
オーケストラスタディ

レパートリー研究
ピアノ
声楽(教職)
混声合唱または女声合唱
ソルフェージュ
和声

対位法
楽式
楽器学
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15~16ページ掲載の科目を履修します。 ※〔〕内記載の専攻のみ履修可能。



PROFESSOR'S MESSAGE

失敗を恐れず積極的な姿勢で、
専門分野を学ぶ

深山 尚久 教授(ヴァイオリン)

勉強のルールがある程度敷かれていた高校までとは違い、大学では自分が学びたいと思うことを専門的に学ぶことができますが、一方そのための気力と真のモチベーションが問われます。やり直しには大きなエネルギーが必要ですから、悔いのない選択をしましょう。本学では、学生それぞれの性格に合わせ、長所を伸ばすことを第一に考えて指導をしています。ぜひ失敗を恐れず、積極的な学生生活を送ることをお勧めします。

PROFILE: 東京藝術大学、同大学院修了。文化庁海外芸術家派遣研修員としてドイツに留学。東フィル、新皇日響、札幌、広響、神奈川フィル、東響、静響のコンサートマスターを歴任。国内ほとんどのプロ・オーケストラの客演コンサートマスターを務める。深山アカデミー主宰、日本弦楽指導者協会会長。



井上 久美子 特任教授(ハープ)



黄原 亮司 特任教授(チェロ)



崔 文洙 客員教授(ヴァイオリン)



丸山 由里子 講師(ヴァイオリン)



恵谷 真紀子 講師(ヴィオラ)



高山 智仁 講師(コントラバス)

STUDENT'S MESSAGE

<音楽>は私にとって、人生の指標

高橋 まりあ 器楽コース コントラバス専攻 4年
神奈川県立藤沢総合高等学校出身

私の原動力となっている音楽を、如何に高めるかは、音楽と向き合う時間をどう過ごすかだと思います。特に個人レッスンでは、そこでしか得られないものがあります。先生は、私の持つ音楽や感性を伸ばし、新たな表現を導いてくださいます。先生と一緒に音楽と向き合う時間があることで、今の私があります。瞬間芸術である音楽において、私が紡げるものが何か…それを追究し、極めることが私の今後の音楽人生なのだと考えています。



声楽コース

舞台上で歌える喜び、さまざまな楽器との共演
体が楽器の音楽の魅力を実感



コースの特徴

POINT 1 “声”の持つ可能性を上げ、
プロの声楽家や指導者に育っていく

私たちの顔が一人ひとり違うように、声帯も声の質も一人ひとり異なります。この声の特性を見つけて大事に育てていくことが、声楽を指導するうえではとても大切です。また、声楽を学ぶには言葉と音楽の関係を理解することが欠かせないため、ドイツ語、イタリア語、フランス語のディクッションなど、声楽家のための語学の授業も充実させています。担当教員と学生とは厚い信頼関係で結ばれ、きめ細やかなレッスンを通じ、学生の持つ可能性が大きく花開くよう指導をしています。

POINT 2 さまざまな演奏体験を通じて得られる力

学内外のホールでは、ソロをはじめ重唱や合唱などの演奏会が数多く行われ、声楽の楽しさ、難しさを経験するとともに、日々学生同士で音楽の理解を深め合っています。総合芸術と言われるオペラの学修においては国内外から一流の演出家を招き、試演会やオペラ公演も開催されています。さらに、本学管弦楽団や著名なプロのオーケストラと共演する機会があり、実践的な経験に導かれた豊かな表現力を持つ、真に芸術文化の発展に貢献できる人材が育成されています。

専門科目

必修科目

専攻実技 ソルフェージュ
卒業演奏 和声
ピアノ 西洋音楽史
混声合唱

選択科目

声楽アンサンブル
室内合唱
オペラ基礎演技
オペラ重唱
ソルフェージュ

ディクッション(ドイツ語)
ディクッション(イタリア語)
ディクッション(フランス語)
レパートリー研究
ピアノ
和声

対位法
楽式
楽器学
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

PROFESSOR'S MESSAGE

さまざまな分野での成長を優れた講師陣が
きめ細やかに指導

佐藤 美枝子 声楽コース長・教授

声楽コースには、多岐にわたる授業があり、基礎はもちろん総合芸術として内容を深めるために不可欠なカリキュラムが整っています。本学の建学の精神を重んじ、仲間との繋がりを大切に、ともに切磋琢磨することで社会性を養い、さまざまな分野で大きく成長できるよう、エキスパートである優れた教員がきめ細やかに指導していきます。乾いたスポンジが水を含むように、たくさんの学びを吸収し、有意義な学生生活を満喫してください。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業。第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第9回出光音楽賞、第10回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。



佐橋 美起 教授



堀内 康雄 教授



山口 道子 教授



菊池 英美 特任教授



松本 美和子 特任教授



谷 友博 准教授

STUDENT'S MESSAGE

自分の声と作品に向き合い
挑戦できる場所

鈴木 花怜 声楽コース 4年
福島県立白河高等学校出身

個人レッスンでは先生が一つひとつ丁寧に指導くださり、多くの学びを得ながら音楽に向き合っています。また、学内外での本番や演奏などを通して周りから多くの刺激を受け、技術だけでなく1人の人間としても成長できると思います。常に自分自身に向き合い、挑戦できる色々な場で素晴らしい先生方のサポートのもと、着実にステップアップし大きく成長できるよう日々励んでいます。



音楽総合学科

THE DEPARTMENT OF MUSIC STUDIES

作曲コース P.33

音楽学コース P.35

音楽教育コース P.37

アートマネジメントコース P.39

音楽総合学科の理念と特色

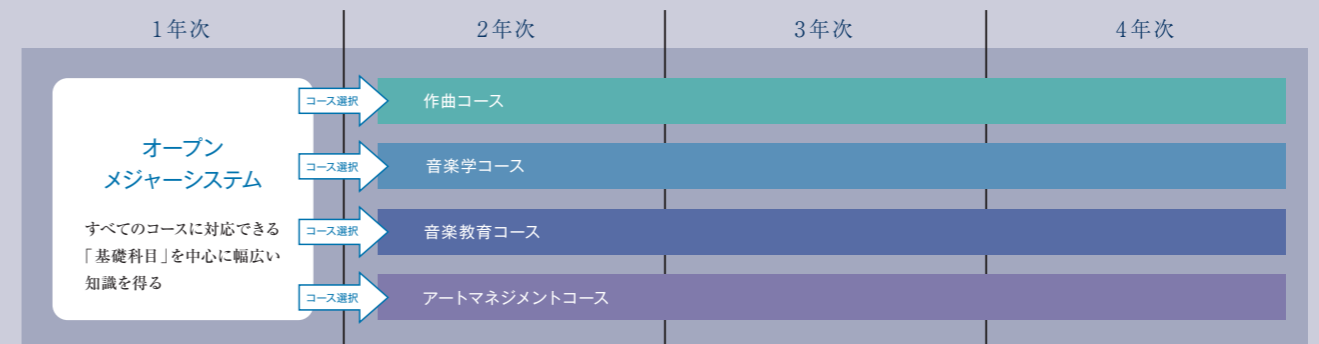
音楽大学における新しい学びのかたちの提案

音楽総合学科は、作曲・音楽学・音楽教育・アートマネジメントの4つのコースで構成されています。知識や情報のグローバル化や、ネットワーク社会が身近になる中で、音楽を専門的に学ぶ学生もこうした社会の変化に合わせて視野を広く持ち、多様な能力を身につけていく必要があります。本学科では、従来から着実な成果を上げている伝統的な音楽に根ざした基礎教育と、現代社会において発達が著しいテクノロジーを組み合わせ、新しい発想で教育に取り組みます。幅広い知識を獲得し、実社会で活かせる力を身につけるため、自分の専門とするコースの科目だけでなく、他のコースの多彩な科目も履修可能です。

2種類の履修システム

1. オープンメジャーシステム

1年次における横断的な総合的学修によって、より幅広い視野を獲得するとともに、それまで気づかなかった自身の可能性を発見できるかもしれません。オープンメジャーシステムでの幅広い学びによって得られる知識・技能・経験は、現代社会における音楽関連のフィールドで大いに活かされるものです。学修にあたっては、経験豊富な教員アドヴァイザーの適切なサポートのもとで「基礎科目」を4科目以上履修し、資質や能力、意欲を考慮して2年次からのコースを決定します。なお、1年次に「フィックスメジャーシステム」を選択した場合と同等の学修効果を得るために、2年次で選択するコースにおいて追加のカリキュラムが用意されています。



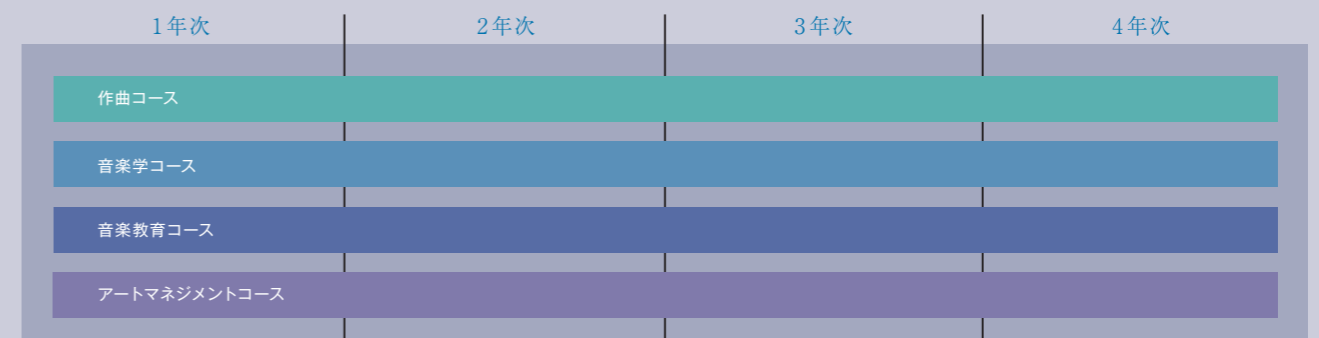
オープンメジャーシステム1年次の履修授業科目

必修科目 > 基礎科目 音楽の世界史 音楽心理学 (基礎) 現代社会と音楽 現代と音楽ビジネス 音楽指導実践 (基礎)	ポピュラー・カルチャー論 デジタルメディア進化論 ビジスマナーと コミュニケーション能力 音楽アナリゼ (基礎) 音楽アナリゼ (発展) 楽譜作成ソフトウェア講座	選択科目 音楽基礎理論 記譜法 混声合唱または 女声合唱 ソルフェージュ 和声 日本音楽概論	2年次の追加履修授業科目 (必修) 作曲コース 音楽基礎理論 音楽学コース 音楽学概論 音楽教育コース 音楽教育学概論 アートマネジメントコース アートマネジメント研究 (基礎)
--	---	--	--

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。

2. フィックスメジャーシステム

入学時から専門的な学修に取り組みたいという場合には、1年次からコースを決めて学修することができます。



※各コースの専門科目 (必修科目・選択科目) は33～40ページをご覧ください。

作曲コース

自分のちからで音楽を創り、
人に感動を届ける



コースの特徴

POINT 1 伝統音楽だけでなく
多様なジャンルに対応できる音楽家

クラシック・吹奏楽・合唱・Jポップ・映画音楽・ゲーム音楽・DTM…。いまや音楽の裾野は際限のない拡がりを見せ、多様性は日々増えています。そうした現代の潮流に対応できる音楽家を育てることが、作曲コースのねらいです。そのような中で、音楽を創造するためには「伝統音楽から学ぶ作曲技法」と「DAWを中心としたコンピュータやレコーディングのノウハウ」の修得が必須となります。本学では「アコースティック」と「エレクトリック」の双方から学生の音楽表現の可能性を拡げていきます。

POINT 2 これからの作曲家 —
キーワードは「マルチ・コンポーザー」

作曲コースでは、伝統的なクラシックの作曲法を学ぶとともに、多様化する現代のニーズに合わせたポピュラーやジャズの作曲法、コンピュータを用いたDAWの音楽制作などを学ぶことができます。学生たちは「芸術音楽」と「商業音楽」の両方に対応できる「マルチ・コンポーザー」を目標に研鑽を積み、作曲した作品は、学内外において多くの発表の機会が設けられます。自作曲演奏の機会を通じた演奏家との関わり方や、最新鋭の楽譜制作ソフトの使用法、録音、編集作業なども学べます。

専門科目

必修科目

作曲法(基礎)
作曲法(応用)
創作応用研究
オーケストレーション
DAW(基礎)
DAW(応用)

作品演奏
卒業作品
ピアノ
ソルフェージュ
西洋音楽史

選択科目

音楽基礎理論
記譜法
映像音楽概論
楽曲アナリーゼ
ピアノ
オルガン

管楽器
打楽器
弦楽器
声楽
声楽(教職)
混声合唱または女声合唱

ソルフェージュ
西洋音楽史
音楽美学
日本音楽概論
諸民族音楽概論

※上記科目とあわせて15~16ページ掲載の科目を履修します。



PROFESSOR'S MESSAGE

一人ひとりの適性に合わせた指導で、
理想の音を作る

野崎 勇喜夫 作曲コース長・教授

作曲コースでは、学生一人ひとりの適性に合わせ、何を勉強していく必要があるのか教員が見定めながら指導内容を考えていきます。作曲の基礎や技術の修得、吹奏楽やオーケストラなどによる作曲の技術や音楽制作のノウハウを学びます。主体的な学びは必ず自分の将来につながります。積極的に音楽と関わり、学ぶ習慣を身につければ学生生活は有意義なものとなり、卒業後の進路や進むべき方向性も、おのずと決まってくるはずです。

PROFILE: 武蔵野音楽大学大学院修士課程作曲専攻修了。在外研究員として渡仏。エコールノルマル、IRCAM等で研鑽を積む。第1回国際音楽コンクール第3位、第9回名古屋文化振興賞入選。作品《カヌシャーマ・トゥバラーマ》(室内オケ)など。編曲出版、音源制作、レコーディング参加など多数。



佐藤 誠一 准教授



佐山 紀彦 講師



成宮 北斗 講師



卒業後の進路例

- ・大学院進学
- ・海外留学
- ・作曲家
- ・指揮者
- ・編曲家
- ・音楽評論家
- ・映像音楽プロデューサー
- ・商業音楽作曲家
- ・レコーディングプロデューサー
- ・大学教員
- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・音楽系企業
- ・音楽出版社
- ・民間企業

STUDENT'S MESSAGE

自分を「創り出す」

篠原 知也 作曲コース4年
千葉県立千葉東高等学校出身

個性豊かな仲間や先生方と過ごす毎日は、とても刺激的です。授業やレッスンでは幅広いジャンルの音楽について触れ、様々な視点での音楽の捉え方や向き合い方を学ぶことができます。それらを自身の創作活動のどこにどう生かすかは自分次第です。先生からアドバイスをいただきつつ、たくさん悩みぬいて自分の納得する形へと創り上げていく、そういった経験を積んでいきます。作曲コースは、可能性を与えてくれて、そして生み出せる場所です。



音楽学 コース

音楽の感動は音楽の知によって深まり、
確かなものとなる



コースの特徴

POINT 1 整った環境で音楽を実践とともに
多面的に研究

音楽学コースでは、さまざまな音楽について、音楽を組織付けている理論はもちろん、歴史や思想、文化、社会との関わりなどを多面的に学びます。各分野の研究者による専門的な指導のもとで、今まで知らなかった音楽の見方や考え方や出会い、音楽の芸術的な素晴らしさや社会・文化における意味や役割を探究します。また、図書館や楽器ミュージアムなどの充実した研究施設の活用や、音楽大学の特色を活かした音楽実技履修により、実践に裏付けられた学びが可能です。

POINT 2 音楽への知的探究心をバックアップ

「音楽学概論」で音楽学の基礎を学び、2～4年次の「音楽学研究」でさまざまな研究分野の考え方や研究の現状を学んで視野を拡げ、4年次では自らが設定したテーマで卒業論文作成に取り組みます。例年、卒業論文のテーマは多岐にわたりますが、論文の作成を通して、「調べる力」「考える力」「発信する力」が培われます。そうした力をつけた本コースの卒業生は、音楽の研究はもちろん、教育や評論、出版、舞台制作、図書館など、さまざまな分野で活躍しています。

専門科目

必修科目

音楽学概論
音楽学研究
楽書講読
特別演習
日本音楽史
音楽ジャーナリズム論

選択科目

音楽美学
諸民族音楽概論
ピアノ
オルガン
管楽器
総合演習
卒業論文
楽書講読
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史
打楽器
弦楽器
声楽
声楽(教職)
混声合唱または女声合唱
和声
対位法
楽式
楽器学
西洋音楽史

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。



PROFESSOR'S MESSAGE

楽譜からの声に耳を傾け作品や伝承資料と対話する
市川 克明 音楽学コース長・教授

私たちが普段聴いたり、演奏する音楽、それはどのように産み出され、伝えられてきたのでしょうか？音楽は私たちが和ませ幸せな気持ちにしてくれますし、時として強いメッセージを発することもあります。今に伝わる多くの音楽家たちからの魂の声を、楽譜やさまざまな資料から聴き取り、読み取り、理解し、より深く知ること、学問としての音楽を学びより深く作品と対話し探求していく、そのような音楽学への扉を開いてみませんか？そこで培われた、読譜力、読解力、分析力、そして論理的に考察すること、書くこと、話すことは、人生を豊かにするだけでなく音楽やそれを取り巻くさまざまな職業にも応用できる基礎的能力となることでしょう。

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了、ホルンを田中正大、山本真、ハインリヒ・ケラーの各氏に師事。ドイツ・ハレ大学で音楽学博士号を取得。在学中、日独親善交流演奏会などを企画、2011年、日独友好150周年記念友好賞を受賞。日本音楽芸術学会理事、日本音楽学会、国際ヘンデル学会会員。



稲田 隆之 教授



宮崎 晴代 講師



米田 かおり 講師



卒業後の進路例

- ・大学院進学
- ・海外留学
- ・音楽研究者
- ・音楽評論家
- ・図書館員
- ・大学教員
- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・カルチャースクール講師
- ・音楽出版・マスコミ関係
- ・音楽関係機関・団体
- ・音楽系企業
- ・音楽ホールの企画・運営
- ・演奏家
- ・民間企業

STUDENT'S MESSAGE

自分の興味を学問的に
深めることができる場所

高岡 愛実 音楽学コース 4年
富山県立富山中部高等学校出身

音楽学コースでは、自分が興味のある音楽に関する研究をするための方法を学びます。自分が好きな音楽がなぜ好きなのか、どこが美しいと思うのかを研究の出発点とし、「音楽学研究」や「特別演習」、「総合演習」といった専門的な授業で知識を蓄えつつプレゼンテーションの練習を重ねることで卒業論文執筆に必要な能力を鍛えることができます。特に、「総合演習」では大学院生も含めた場でディスカッションが行われるため、幅広い知見を得ることができます。



音楽教育 コース

音楽の魅力を伝え、
教えることで感動を分かち合う



コースの特徴

POINT 1 高い専門性と豊かな人間性を備えた指導者を育成

次世代の音楽指導者を育成するための音楽教育コースでは、高い専門性と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。子どもたちの情操教育からシニアの趣味家層まで、幅広い世代の人々に音楽の魅力を伝えることは、いまや欠かせない社会貢献です。楽器演奏や歌唱のノウハウを教え、ともに演奏を行い、感動を分かち合う。それは音楽を通して心を通わせるコミュニケーションの世界です。本コースで確かな技能と指導能力を学び、心と技術を備えた魅力あふれる音楽の伝道者を目指しましょう。

POINT 2 学校教育現場で必要な実践的指導力を身につける

音楽教育コースでは学校の教員をはじめ、音楽教室や音楽団体など多様な場面で音楽の指導を通じて活躍する人材を育成しています。そこには幅広い知識や演奏技能、指導力はもちろん、何よりも教育に対する使命感や情熱、高潔な人間性が求められます。本コースでは多様なニーズに対応し、指導者としての資質を十分に備えることができるよう、各種楽器演奏や声楽の基礎技術を中心に、西洋音楽史や音楽教育史など、専門知識を学ぶための豊富なカリキュラムが編成されています。

専門科目

必修科目

音楽教育学概論
音楽教育史
音楽教育学研究
音楽指導実践研究
音楽指導者論
卒業論文演習
卒業論文
基礎実技
(ピアノ・オルガン・管楽器・打楽器・弦楽器・声楽)

ピアノ
ソルフェージュ
和声
西洋音楽史

選択科目

音楽心理学研究	声楽(教職)	対位法
生涯教育・社会福祉と音楽	管弦楽	楽式
アンサンブル指導法	管・打楽器合奏	楽器学
ピアノ	管楽合奏	西洋音楽史
オルガン	打楽器合奏	音楽美学
管楽器	弦楽合奏	日本音楽概論
打楽器	混声合唱または女声合唱	諸民族音楽概論
弦楽器	ソルフェージュ	
声楽	和声	

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。



PROFESSOR'S MESSAGE

指導者の指導性と学習者の
主体性が調和する学習活動を実践

加藤 徹也 音楽総合学科長 音楽教育コース長・教授

音楽教育コースには「音楽の魅力をより多くの人たちに伝え、音楽の指導に携わりたい」という思いや志を持った学生が集まっています。音楽の楽しみ方にさまざまな形があるように、音楽の学びや指導の場面も多様であり、それぞれの特徴や利点を知ることが大切なことと言えるでしょう。私は、指導者が指導性を発揮する場面と学習者が主体性を発揮する場面が調和したところに、充実した学習活動が成り立つと考え、日々心がけています。

PROFILE: 東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。放送大学大学院文化科学研究科修了。東京都立高校教員、文部科学省主任教科書調査官を経て、2015年武蔵野音楽大学教授、2022年より音楽総合学科長。時代やジャンルを超えた音楽の授業づくりを推進している。趣味は旅行。



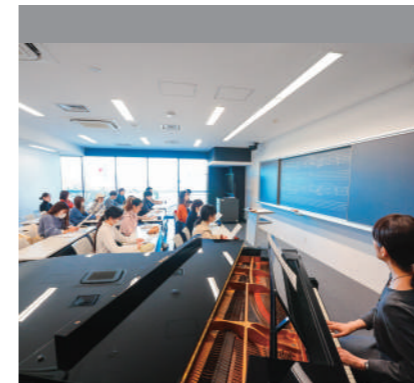
山崎 正彦 准教授



大場 ゆかり 講師



平田 亜矢 講師



卒業後の進路例

- ・小学校・中学校・高等学校教員
- ・音楽教室講師
- ・福祉関係施設職員
- ・大学院進学
- ・音楽出版社
- ・民間企業
- ・大学教員
- ・音楽系企業
- ・海外留学

STUDENT'S MESSAGE

実践的な知識・技能を身につけて
指導者としてのあり方を模索する

池田 奏恵 音楽教育コース 4年
松戸市立松戸高等学校出身

音楽教育コースは、多岐にわたるカリキュラムにより、幅広い知識を身につけ、生徒に寄り添える教員を目指すことができます。親身に寄り添ってくださる先生方のもとで、教員への道を志す仲間と切磋琢磨し、互いに高め合っています。さらに、基礎実技のレッスンは憧れの先生のもとで自身の演奏を磨き、専門的な技術を身につけることができます。これからも音楽教育コースで、音楽と教育に真摯に向き合い、努力を続けてまいります。



アート マネジメント コース

Arts Management —

それは、感動の輪を広げる仕事
芸術を社会に広め、花を咲かせる



コースの特徴

POINT
1

芸術文化活動を力強く支える
人材の育成

華やかな音楽のステージは、アーティストと各分野の専門スタッフ、そして彼らをリードするアートマネージャーとの共同作業によって創造されています。アートマネジメントコースは、芸術的感性とマネジメント能力を備え、舞台芸術の現場で活躍するアートマネージャーの育成を目指しています。アーティストの魅力を引き出し、舞台にまばゆいきらめきを与え、ビジネスとしてもマネジメントできる能力を備えたアートマネージャーは、音楽文化の創造者として時代に求められる存在です。

POINT
2

実践本位のカリキュラムと
充実した学修環境

アートマネジメントコースでは、主としてコンサートやオペラなど各種公演の企画・制作・宣伝や、劇場・ホールなどの施設管理・運営について学びます。芸術文化の第一線で活躍する専門家が講師を務め、学内外で行われる数多くの公演の現場において実習経験を積んでいきます。また、音楽史・音楽理論・音楽実技などの専門科目やコンピュータ音楽、録音技術などの基礎を学ぶとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などを養い、ビジネスマナーも身につけます。

専門科目

必修科目

アートマネジメント研究(基礎)	コンピュータ音楽実習
アートマネジメント研究(応用)	企画制作演習
舞台技術概論	卒業論文
劇場音響概論	音楽実技
広報宣伝資料製作	(ピアノ・オルガン・管楽器 ・打楽器・弦楽器・声楽)
アートマネジメント実習	西洋音楽史
芸術文化政策論	

選択科目

映像音楽概論	声楽	対位法
演劇論・演出論	声楽(教職)	楽式
舞踊概論	混声合唱または女声合唱	楽器学
ピアノ	ソルフェージュ	音楽美学
オルガン	西洋音楽史	
管楽器	日本音楽概論	
打楽器	諸民族音楽概論	
弦楽器	和声	

※上記科目とあわせて15～16ページ掲載の科目を履修します。



PROFESSOR'S MESSAGE

理論と実践を学び、
音楽とともに生きる

上村 英郷 アートマネジメントコース長・教授

アートマネジメントコースでは、芸術や文化を愛する皆さんを力強くサポートしていきます。カリキュラムは、理論と実践がバランスよく組み合わせられ、新しいテクノロジーによるDTM制作、広報資料制作など幅広く学修できます。芸術文化の将来のため、聴衆との関わりを考え、新しいテクノロジーについて前向きな関心を抱き、音楽の変化する環境において、芸術的にも組織的にもリーダーシップをとっていけることを願っています。

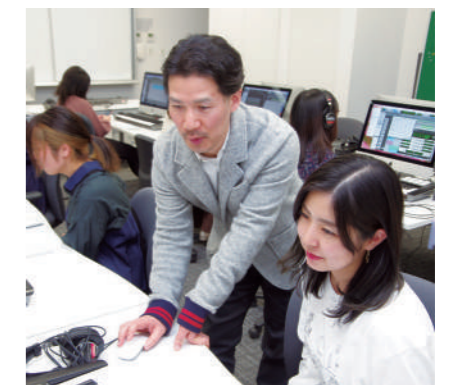
PROFILE: 武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。スイス(チューリヒ)国際ナショナルマスターコース修了。武蔵野音楽大学大学院 音楽研究科修了(芸術学)。アメリカ州立ノーザンコロラド大学 客員研究員。国立大学法人政策研究大学院 文化政策プログラム修了(公共政策)。



赤木 舞 准教授



脇谷 真弓 講師



安田 寿之 講師



卒業後の進路例

- ・音楽ホールの企画・運営・管理
- ・音楽系企業
- ・芸術団体の制作スタッフ
- ・音響・照明などの舞台技術スタッフ
- ・大学院進学
- ・テーマパークの企画・運営
- ・音楽イベントプロデューサー
- ・学芸員等文化施設の専門スタッフ
- ・マスコミ関係
- ・民間企業

STUDENT'S MESSAGE

心に届く演奏会の
実現に向けて

佐久間 優響 アートマネジメントコース 4年
専修大学附属高等学校出身

幼少期からピアノを習い、コンクール等でスタッフの方々の手厚いサポートを受けた経験から演奏者のサポートを志し、本コースに入学しました。本コースでは制作や広報に必要な知識と音響や照明などの実践的技術、音楽のみならず舞踊・演劇・大衆芸能など多彩な芸術についての学びを深めることができます。企画から制作・運営まで、自分たちの手で作り上げることは、困難も多いですが、協力し合いながら人々の心に届く演奏会の実現に向けて、日々取り組んでいます。



客員・特別招聘教授メッセージ

GUEST PROFESSORS' MESSAGE



私の音楽人生と心に刻まれた、学生の誠意と情熱

Ray E. Cramer

レイ・E. クレーマー (ウィンドアンサンブル指揮)
インディアナ大学名誉教授/武蔵野音楽大学名誉教授

1990年に始まった武蔵野音楽大学との関係は、既に約30年が経過しています。そして、現在でも学生たちと音楽的な体験を共有することができていることを心から嬉しく思います。武蔵野のオーケストラやウィンドアンサンブルは国内だけでなく、海外でも高い水準の演奏を行っており、プロの演奏家を目指している皆さんは、武蔵野音楽大学の奥深い音楽を存分に経験するべきと思っています。

Profile

インディアナ大学にて吹奏楽学科主任教授およびバンドディレクターとして活躍し、全米吹奏楽指導者協会会長など吹奏楽協会の要職を歴任。「第17回日本管打・吹奏楽アカデミー賞」、「バンド・オブ・アメリカ殿堂」等、数多くの受賞歴を持つ。



超満員の聴衆とのエキサイティングな時間

Kemal Gekić

ケマル・ゲキチ (ピアノ)
フロリダ国際大学教授/武蔵野音楽大学客員教授

客員教授として武蔵野音楽大学を訪れ、学生たちや先生へのレッスン、ソロリサイタルを行うたび、学内にあふれるプロフェッショナルで協調性のある雰囲気を感じます。毎年、皆さんと共有する時間をエンジョイしていますが、2015年に行った武蔵野のウィンドアンサンブルと、2017年「新キャンパス竣工記念特別演奏会」での福井直昭学長との共演は特にエキサイティングでした。

Profile

1982年ユーゴスラヴィアのノヴィサッド音楽院で、史上最高得点でのディプロマを取得。1985年ショパン国際ピアノ・コンクールでの演奏はショパン・ソサエティより最優秀ソナタ特別賞を授与。世界中から熱狂的な支持を受け続けている。



様々な音楽に触れ、表現する為の引き出しを豊かに！

Norichika Iimori

飯森 範親 (管弦楽団・ウィンドアンサンブル指揮)
武蔵野音楽大学客演指揮者

武蔵野音楽大学の皆さんとは、これまでに、吹奏楽と管弦楽、それぞれの演奏会を指揮させていただきました。音楽に対する真剣な取り組み、また、私から多くのものを吸収しようというキラキラした眼差し、それらがいつも印象的でした。彼らはリハーサル初日からとてもハイレベルな演奏をし、そして、本番に向けての集中力にはプロにも勝るエネルギーを感じます。この大学で学んだことが、皆さんのこれからの音楽家人生において少しでもプラスになることを願っています。

Profile

パンフィックフルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー響首席指揮者、群馬響常任指揮者、山形響桂冠指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウィンドオーケストラ、中部フィル首席客演指揮者。また、オペラでも高い評価を得ている。



©山岸 伸

芸術作品を理解するために自らの見聞を広める

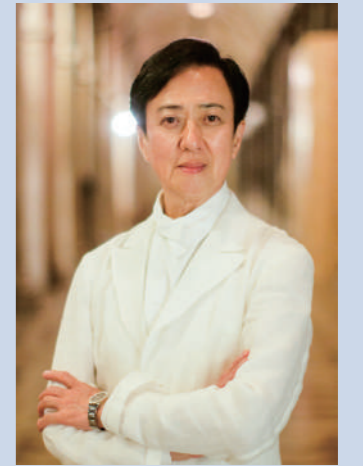
Tamasaburo Bando

坂東 玉三郎 (歌舞伎役者)
武蔵野音楽大学特別招聘教授

素晴らしい音楽家や彫刻家、画家などは、宇宙からの波のさなかに生まれた人だと思っています。そして、彼らが心のままに、或いは夢中で作ったものは、自然の美によく似ており、また人生の苦しさ、生きていることへの矛盾や疑問から出てきているものだと思います。そういった芸術作品を皆さんが理解するためには、自らの見聞を広めるということに尽きるのではないのでしょうか。

Profile

歌舞伎界を代表する立女形。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座「心中刃は水の朔日」のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。歌舞伎の枠を超えて国際的にも活躍。重要無形文化財保持者(人間国宝)他、受賞歴多数。



家族の一員として、学生たちにより良い生き方を

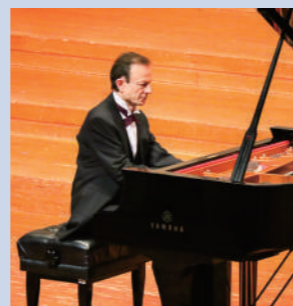
Ilya Itin

イリヤ・イーティン (ピアノ)
武蔵野音楽大学客員教授

武蔵野音楽大学という“家族”の一員になれたことは、私にとって大変幸せなことです。キャンパスを包む「和」の雰囲気は、ここでの指導を特別なものにしてくれます。私たちの役目は、すべての学生たちの生き方をより良いものへ変えていくことであり、音楽は私たちすべてをつなげるものです。皆さん全員がお互いに影響を与え合い、高め合っていくことを望んでいます。

Profile

モスクワ音楽院を最優秀で卒業。レフ・ナウモフ氏に師事。リーズ国際ピアノコンクール第1位、ラフマニノフ国際コンクール第2位など受賞歴多数。著名オーケストラ、指揮者との共演多数。世界中で演奏活動を行う他、コンクールの審査員も多数務める。



価値や能力を高め、達成感を得られるレッスンを

Christian-Friedrich Dallmann

クリスティアン＝フリードリヒ・ダルマン (ホルン)
ベルリン芸術大学教授/武蔵野音楽大学客員教授

40年にわたり世界中で教えてきた私にとっても、武蔵野音楽大学で教えることは常に特別なことです。ここではすべてを広く受け入れ、好奇心旺盛で、集中力ある学生たちに出会うことができます。特に学生たちの持つ価値や能力を高め、それぞれが達成感を得られるようレッスンしています。私たちが繋げてくれる素晴らしい音楽の世界に、若い人たちの目・耳・心を開かせることは、私の人生にとって最も重要な仕事のひとつです。これからも喜んでここでの教育に身を捧げるつもりです。

Profile

ハンス・アイスラー音大で研鑽を積み、1978年にマルクノイキルヒェン国際音楽コンクールホルン部門で第1位受賞。ベルリン交響楽団(現ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団)の首席奏者を経て、現在ベルリン芸大教授として教鞭をとっている。



授業紹介

CLASS INTRODUCTION



室内楽・重奏(ピアノ)

オーディションで選出されたピアノの学生が、教員推薦による弦・管楽器の学生とデュオやトリオ等を組んで、バロックから近現代に至る幅広いレパートリーを学んでいます。お互いが単に寄り添うのではなく、音としてそれぞれが自己主張しながら対話することで、ひとつの音楽を創り上げて行くのが室内楽の醍醐味です。授業を通して将来の音楽活動のための必要不可欠な経験を積むことが出来るでしょう。



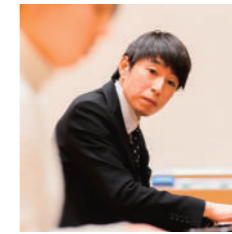
永岡 信幸 教授

担当: ピアノ、室内楽・重奏(ピアノ) など

PROFILE: 武蔵野音楽大学および同大学院修了、クワイター賞受賞。リスト音楽院、ベルリン芸術大学へ留学。プゾーニ、マリア・カナルス、ヴィオッティ、エビナル等の国際コンクールに入賞。国内外でのリサイタル、オーケストラとの協演や室内楽等で活躍している。

即興演奏入門(ピアノ)

即興演奏は、ただ単に自由に演奏できるオープンな姿勢だけでなく、瞬時に反応する力や、的確に判断する力、さらには音色への探究心、大胆に表現する勇氣(表現の解放)など、演奏に対するアプローチを広げられる可能性に満ちていると言えます。本授業では、理論的、歴史的視点はもちろん、それぞれの個性や独自の解釈も尊重するように心がけています。イメージした音がきちんと表現できているか、学生たちと熱く向き合っています。



伊東 光介 講師

担当: ソルフェージュ、即興演奏入門(ピアノ)

PROFILE: 東京藝術大学作曲科卒業。即興演奏家としてソロだけでなく、邦楽・洋楽ジャンルを問わず様々な楽器と、また、ダンスやライブペインティング(即興絵画)にいたるまで、多種多様な形の共演を重ね、独自のスタイルによるパフォーマンスを展開し続けている。



管弦楽

管弦打楽器専攻によるオーケストラ授業です。各楽器を専門的に学んでいる学生同士で協力をして合奏をしています。自分のスキル向上とともに、他の楽器の演奏も聴き合い、アンサンブルをしていくことがより重要になってきます。この授業では主にロマン派以降の作品を取り上げることが多いので、よりレベルの高いアンサンブル能力を鍛えることができます。また本番は、学外のホールでの演奏会になりますので、本番までに必要な準備、リハーサルなどを通して、演奏会を作り上げていきます。

和田 一樹 講師

担当: 指揮、管弦楽、合奏研究(管弦合奏)

PROFILE: 第6回プラレスト国際指揮者コンクール準優勝。ヤシ・モルドヴァフィルより「最年少最優秀指揮者」の称号授与。日本国内では東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など主要オーケストラに客演。ドラマ「のだめカンタービレ」映画「マエストロ!」などの作品で、指揮指導、音楽監修を務めた。



フルートオーケストラ(管楽合奏)

ピッコロ、コンサートフルート、アルトフルート、バスフルート、コントラバスフルートで編成されるフルートオーケストラの授業では、オリジナル作品及びアレンジ曲を通して合奏技術を学びます。また普段経験することのないバスフルートなどの特殊管についても経験することができます。受講者皆で曲を作り上げていくことで、ソロの演奏では味わうことの出来ない達成感を得ることができます。全国各地で行われているフルートオーケストラに貢献できる人材育成も目指しています。



高久 進 教授

担当: フルート、管楽合奏

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。東京フルートアンサンブルアカデミーのメンバーとして海外を含む多数の音楽会に出演しCD録音、クリニックを行う。また「新しい楽器学体系」(共著)の執筆を手がける。第35・38回日本打楽器コンクールフルート部門審査委員長。日本フルート協会常任理事。

打楽器合奏Ⅲ,Ⅳ

打楽器専攻3年生の為の合奏授業です。例年、前期のⅢは7月に、後期のⅣは12月にホールで学習発表コンサートをやります。レパートリーは、多様性そのもので、オリジナルから他の楽器の編曲、合唱曲、民族曲、ロック、ポップス、ハンドベル、アンクルン合奏等々。私自身の編曲も毎回トライしています。自分達でアンサンブルを極められるように、私が指揮をする事はなるべく避けています。打楽器の世界だけの自己満足に陥らない、人と人を繋ぐ音楽を目指します。



中谷 孝哉 教授

担当: 打楽器、打楽器合奏 など

PROFILE: 東京藝術大学大学院修了。2005年まで新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器。第1回日本打楽器コンクール打楽器部門で1位。サイトウキネン・オケ、ボストン交響楽団、ベルリン・フィルにも出演。ダヤ・チプタ・マリンバ主宰。

弦楽合奏

弦楽合奏の授業は1年次でI,II、2年次でⅢ、Ⅳが開講されており、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスからなる弦楽五部のアンサンブルです。仲間と呼吸を合わせ、お互いを聴き合い、音を重ねて、繊細で美しい響きの音楽を作り上げていきます。厚みのある音や豊かな響き、軽快なリズム、音のキラキラとした音楽表現に重要なのは弓の使い方。そこに重点を置いて学びます。これらの実技経験は、より音楽の理解を深め、アンサンブルの基礎を学び演奏家としての幅を広げます。



丸山 由里子 講師

担当: ヴァイオリン、弦楽合奏

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業。ドイツ・フライブルク国立音楽大学院修了。ヨーロッパモーツァルト財団のアカデミーマスターコース参加。ソロリサイタル、ピアノトリオ「カスターリア」の演奏活動を行う一方、故郷・グントナー氏率いる室内管弦楽団のコンサートマスターを務める。



授業紹介

CLASS INTRODUCTION



上：佐藤 美枝子 教授
PROFILE: P.30参照

オペラ

マイクを使わずに舞台上で歌うのがオペラ歌手です。オペラ歌手として舞台上立つための本当の基礎を、指揮者、演出家、声楽家のそれぞれの立場から、多角的、総合的に教えます。スコアの読み方や演奏の実習はいうまでもありません。更に、人間の肉体という楽器の基本的な使い方となる立ち方、歩き方。日本とは違うヨーロッパの台本の読み方。三千年の歴史を数える舞台表現、音楽表現の基礎を学んでもらいます。対象となるのはオーディションで選ばれた学生のみです。



右：岩田 達宗 特任教授

PROFILE: オペラ演出家。五島記念文化賞オペラ新人賞、音楽クリティック・クラブ賞を受賞。演出した作品は芸術祭大賞、三菱UFJ音楽賞、佐川吉男賞など受賞。ひろしまオペラネットワーク芸術監督、東京文化会館運営委員、大阪音楽大学客員教授。

左：佐藤 正浩 特任教授

PROFILE: サンフランシスコ歌劇場、リヨン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場でコレパティートル・副指揮としてキャリアを始める。イギリスで「イドメネオ」を指揮しデビュー。日本では新国立劇場、日生劇場、二期会、藤原歌劇団等で指揮。新国立劇場オペラ研修所長。

室内合唱

声楽専攻学生から選ばれた受講生による授業です。授業では西洋音楽の源とされるグレゴリオ聖歌をはじめ、ルネサンス・古典・ロマン派の作品、そして邦人を含む現代作品などにじっくり取り組み、ひとりひとりの音楽の幅を広げると共にアンサンブルの楽しさ、奥深さを学びます。定期演奏会の他、プロフェッショナルな団体との共演、依頼公演、また小学生向け鑑賞教室など幅広い活動を行い、それぞれで高い評価を得ています。

片山 みゆき 講師

担当：室内合唱、女声合唱 など

PROFILE: 合唱指揮を田中信昭氏、ルネサンス合唱を皆川達夫氏、グレゴリオ聖歌を水嶋良雄氏・Dr.Mary Berryに師事。全国各地にてジュニア・一般合唱団の指揮者を務めると共に、新しい作品の委嘱初演活動を通して合唱の可能性を追求。「音楽樹」副理事長。日本合唱指揮者協会・日本グレゴリオ聖歌学会・日本演奏連盟会員。



室内楽・重奏（金管楽器）II

音楽大学のレッスンでは、個々の技術、音楽性を養い、ソロを演奏する緊張感、難しさを味わって下さい。室内楽のレッスンでは、協調性、息を合わせる、ハーモニー感覚、音楽の方向性を揃えるという難しさを存分に味わって下さい。音楽家にとって重要な事は、耳を鍛え、何にでも反応できるようアンテナを張り巡らし、即座に対処できる事だと思います。アンサンブルを通して重要不可欠なものを室内楽の授業で学び、個人の成長に繋げていきましょう。

岡崎 耕二 講師

担当：トランペット、室内楽・重奏（金管楽器）など

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業。トランペットを福井功氏、室内楽をA.カークス氏に師事。同卒業演奏会、同島根県支部新人演奏会等に出演。第4回日本管打楽器コンクール入選。NHKFMリサイタルに出演。現在、東京都交響楽団首席奏者、ザ・トランペットコンサートメンバー、日本トランペット協会理事。



ミュージカル入門

ミュージカル入門では、最初の授業でミュージカルの歴史を学びます。そしてスタンダードから現代に至る曲を受講生が実際に歌って踊ることで、ミュージカルの楽しさを知ることができ、仲間とコミュニケーションをとりながら共に作品を作り上げることで、豊かな表現力も身につきます。また「正しい発声」の基礎も学ぶことができるので、あらゆるジャンルの曲を歌えるようになり、色々な種類のダンスも学んでいきます。授業最後には発表会をして、それぞれに合った役を歌い踊り演じることで、舞台人としての第一歩を経験できます。

佐橋 美起 教授

担当：声楽、ミュージカル入門

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第55回日本音楽コンクール第1位。数々のオペラの他、NHKニューイヤーコンサート、題名のない音楽会など、数多くのメディアに出演。海外では、チロル州立歌劇場、ロンドンのENO、ミュージカルでもロンドン、エジンバラで「王様と私」のタプティムで出演。



チェンバロ演奏法

バロック時代の鍵盤楽器、チェンバロを演奏し実践します。1年目はバッハの教育理論と奏法を分析することから始まり、同時代の作曲家、スカルラッティ、クープラン、ラモー、ヘンデルなどの作品にも触れ、2年目はバッハが多大な影響を受けた17世紀初期、また前古典派の作品も挑戦してみます。ドイツ、フランス、イタリア、イングランド、イベリア半島など、各地における運指、アーティキュレーション、装飾音、様式の違いを知ることにより、バロック時代の音楽シーンを体感することが目的です。



西山 まりえ 講師

担当：チェンバロ演奏法

PROFILE: チェンバロとヒストリカル・ハープを操る稀有なプレーヤーとして国内外の音楽祭や録音に参加。TV・ラジオ出演も多い。CDは「レコード芸術」誌特選盤、朝日新聞、毎日新聞推薦盤など高く評価されている。第11回国際古楽コンクール山梨チェンバロ部門第1位。「信州アリー・ミュージック村音楽祭」芸術監督。

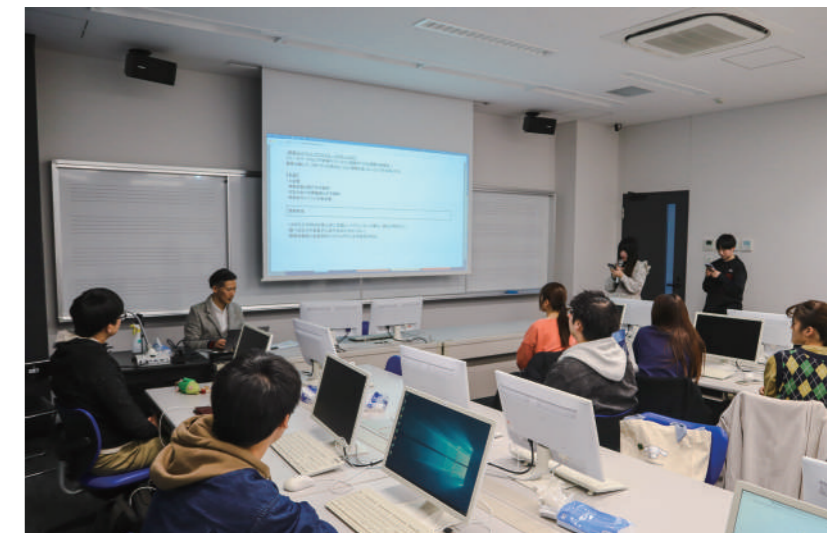
音楽イノベーション

音楽は、美しく楽しいものです。しかし、音楽の果たす役割は人々にそのような感覚を与えることだけではなく、さらに大きな可能性を秘めています。20世紀に確立された上演型音楽から発展し、人々の生活の中に介在してきた多様な参加型音楽を新しい時代に合わせてアップデートすることで、音楽の役割を拡張できます。環境、生活、エンターテインメント、教育、医療、福祉、自治体、国際協調、ICTなど、多岐にわたる分野と音楽が連携し果たせる社会的貢献を提案していきましょう。

安田 寿之 講師

担当：コンピュータ音楽実習、音楽イノベーション など

PROFILE: 音楽家、音楽環境研究所同会社代表。2011年より本学にて、コンピュータ音楽実習、DAW基礎/応用、音楽イノベーション講義を担当。国内外でのリリース、TVやCMなどへの提供も多数。既成概念に捉われない制作方法を手がけ、音楽と社会の新しい関わりを模索。



授業紹介

CLASS INTRODUCTION



DAW

「DAW」とはDigital Audio Workstationの略で、コンピュータなどを使った音楽製作を意味します。授業ではProToolsやLogic ProをメインDAWソフトウェアとし、基本操作を学びながら編曲や作曲、映像への音楽や効果音付けの実習を行います。素材は環境音から電子音まで幅広く扱い、映像や視覚効果への理解を深めるべく、デザインや動画も可能な限り自作します。DTM室と録音スタジオを活用しながら、ソフトウェアや機器に捉われない柔軟な発想と感性を活かした個性溢れる作品制作を目指します。



佐藤 誠一 准教授

担当：作曲、和声、対位法、DAW（応用）など

PROFILE: 武蔵野音楽大学作曲学科を経て同大学院修了。在学中より作曲・編曲活動を始め、舞台、テレビ、ゲーム音楽などを多数手がける。純音楽作品に《ケブラーの夢》、《既視感と未視感の間で》、《アナトリアン・ドリームズ》《ソコロス》などがある他、合唱曲も多い。

音楽学概論

「音楽学概論」は、音楽学コース1年生が最初に受講する音楽学専門の授業です。音楽学とは何を明らかにする学問なのか、また、それらの問題を明らかにするにはどのような方法論があるのかを、幅広く学びます。作曲家、作品、様式、音楽理論、資料研究、楽曲分析、音楽美学、音楽社会学、演奏研究、日本音楽史、民族音楽学、サウンドスケープ、ニューミュージコロジーなど、自分の興味関心や問題意識と向き合いながら、音楽学という学問分野の幅広さを学ぶことを目的としています。

稲田 隆之 教授

担当：音楽学概論、オペラ史 など

PROFILE: 音楽学（西洋音楽史）。東京芸術大学大学院にて博士号（音楽学）取得。専門は楽曲分析による作曲家・作品研究。特に19世紀ドイツ系のオペラ・交響曲・歌曲を研究。ワーグナーのオペラ、ベートーヴェンの交響曲、ヴォルフの歌曲、オペラの分析法等の論文多数。



音楽指導者論 I II

音楽指導者論 I IIは音楽教育コースならではの科目です。主に音楽科教員としての資質・能力に焦点をあて、大学在学時代から身につけることが可能な知識や技能に関して演習及び講義を通して学修しています。授業を構成するための方法をはじめ、歌唱指導の創意工夫の段階での指導方法、音や音楽の実感に根ざした音楽鑑賞の指導方法、ギター奏法の基本等を習得します。授業では学生の演習、学生同士の討議を多く取り入れ、活発な意見交換を通して学力を身につけていきます。

山崎 正彦 准教授

担当：音楽教育学研究、音楽指導者論 など

PROFILE: 教育現場における小学校1年生から高等学校3年生までの指導経験に基づき、音楽教育、音楽科教育の専門知識を学生に伝えています。論文指導等の音楽教育学に関する科目、音楽科指導法をはじめとする教職科目を担当。専門は指導法（音楽鑑賞指導法）です。



アートマネジメント実習

2年次に本学主催の演奏会においてスタッフの一員として、学内施設（プラムスホール等）および学外施設（東京芸術劇場等）での演奏会運営の現場を体験し、3年次にはインターンシップとして、文化施設（劇場・ホール等）、芸術団体（演奏団体等）、芸術関係企業（音楽事務所等）、アートNPO等のプロフェッショナルな現場で実務を経験します。舞台芸術に関する実感を理解するとともに、専門知識とスキルを実践的に学ぶ場となっています。



赤木 舞 准教授

担当：芸術文化政策論、アートマネジメント実習 など

PROFILE: 米国イーストマン音楽学校（ピアノ専攻）卒業、東京芸術大学大学院（応用音楽学）修了。学術博士。研究分野は舞台芸術団体のマネジメント、アウトリーチ活動など。日本音楽芸術マネジメント学会理事、日本アートマネジメント学会企画委員。



ソルフェージュ

ソルフェージュは読譜力を養成し、音楽表現を高めることを目的としています。作曲家は楽譜を通じて自らの音楽を伝えており、演奏者には楽譜から様々な音楽的要素を読み取り楽曲の意図を把握する力が不可欠です。まずクラスは習熟度や専攻楽器など考慮して分けられ、基礎能力である音感・リズム感・和声感を育成するための実践トレーニング、さらには実作品を題材にした応用学習を通して、修得した能力を各々が音楽活動に結び付けられるようきめ細かく授業を行っています。



高谷 典子 教授

担当：ソルフェージュ、ソルフェージュ特殊講義

PROFILE: 武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業、同大学院修士課程ピアノ専攻修了。以降は各所でソルフェージュの教鞭をとり2023年より現職。執筆「実作品を用いたソルフェージュ教材および学習法への提案」ほか。日本ソルフェージュ研究協議会正会員。

和声

和声では音楽の響き（和音）とその流れ（和音進行）を学びます。響き合う表現である音楽の基礎となるもので、和声を学んで響きを体感することは音楽（自己）表現の豊かさにつながります。様々なジャンルの音楽を形成するコード理論のルーツでもある和声。学ぶ価値大です。伝統的な「安定性の中に変化を求める」音楽理論ですが、時にはポップスやロックと比較してその特徴をより深く理解することも。高校と大学の連携授業なので、互いに刺激を受け合いながら学んでいます。

佐山 紀彦 講師

担当：作曲、和声、対位法 など

PROFILE: 武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。ピアニスト宮川渉氏との「CONCERT」、作曲グループ「EKSTERSONOREN」「SANAKAS」「Le Phenix」などで創作活動を展開。作品に「魂の叫び - 独奏チェロのための」、「自作の詩による歌曲 I・II」、「うた・響き - ピアノ・ソロのための」など。



教育職員一覽

2024年4月1日現在（五十音順）

法人役員

理事長……………福井 直敬
理事……………石丸 雍二
古池 好
野村 邦武
福井 直昭
監事……………小林 央
濱田 芳貴

大学役職員

学長……………福井 直昭
総務部長……………重松 聡
管理部長……………末吉 孝司
経理部長……………本庄 忍
図書館長……………重松 聡
楽器ミュージアム館長
……………福井 直昭
学務部長……………高坂 朋聖
演奏部長……………佛坂 咲千生

学科長・コース長

演奏学科長……………田代 慎之介
器楽コース長……………田代 慎之介
声楽コース長……………佐藤 美枝子
ヴィルトゥオーゾコース長
……………福井 直昭
音楽総合学科長…加藤 徹也
作曲コース長……………野崎 勇喜夫
音楽学コース長……………市川 克明
音楽教育コース長…加藤 徹也
アートマネジメントコース長
……………上村 英郷

特別招聘教授

坂東 玉三郎

外国人教員（長期滞在）

イリヤ・イーティン（ピアノ）
ヨズア・バルチュ（ドイツ語）
フランチェスカ・ミッショ（イタリア語）

ピアノ

教授 イリヤ・イーティン
小池 ちとせ
高坂 朋聖
重松 聡
田代 慎之介
永岡 信幸
福井 直昭
特任教授 渡邊 規久雄
准教授 新井 和子
村上 直行
講師 今川 映美子
岩倉 孔介
岩津 勢伊子
上田 京
ウララ・ササキ
遠藤 裕子
大澤 恵子
大坪 由里
大野 瑞穂
岡 珠世
岡崎 悦子
岡野 壽子
可児 亜理
金子 淳
岸 美奈子
橘高 昌男
栗原 千種
桑原 淑子
コッホ 中村 幸子
小柳 信道
近藤 真豊子
堺 康馬
清水 弘治
菅野 雅紀
寺井 ミカ
富山 紀美子
永田 順子
野上 剛
羽田野 英子
春原 恵子
福井 敬介
藤井 隆史
古市 明里
堀内 亮
前原 信子
水野 ゆみ
三宅 啓子
森永 美穂子
山城 浩一
山田 彰一

ピアノコラボレティヴアーツ

教授 小池 ちとせ
特任教授 佐藤 正浩
准教授 子安 ゆかり
講師 清水 綾
横山 修司

オルガン

講師 石丸 由佳

チェンバロ

講師 西山 まりえ

フルート

教授 高久 進
講師 一戸 敦
井出 朋子
岩下 智子
佐野 悦郎
高木 綾子
戸田 敦
宮下 英士
柳原 佑介
吉岡 アカリ

オーボエ

准教授 青山 聖樹
講師 伊藤 量子
金子 亜未
北村 貴子

クラリネット

特任教授 山本 正治
准教授 三倉 麻実
講師 加藤 明久
澤村 康恵
中館 壮志
十亀 正司
林 直樹

サクソフォーン

准教授 栃尾 克樹
講師 都築 惇
林田 祐和

ファゴット

特任教授 岡崎 耕治
講師 山田 知史
吉田 将

ホルン

准教授 須山 芳博
丸山 勉
講師 飯笹 浩二
石山 直城
今井 仁志
西條 貴人
山本 真

トランペット

教授 佛坂 咲千生
講師 井上 雄二
岡崎 耕二
川田 修一
久保 義一
田島 勤
橋本 洋

トロンボーン

特任教授 井上 順平
講師 井口 有里
石原 左近
森田 晃

ユーフォニアム

講師 岩黒 綾乃
大房 美穂

テューバ

講師 大塚 哲也
佐藤 潔

打楽器

教授 中谷 孝哉
特任教授 吉原 すみれ
講師 安藤 芳広
岡田 全弘
小川 佳津子
久保 昌一
黒田 英実
高橋 治子

ヴァイオリン

教授 深山 尚久
特任教授 水野 佐知香
客員教授 崔 文洙
講師 飯島 多恵
木野 雅之
柴 香苗
鈴木 郁夫
東海 千浪
増田 加寿子
丸山 由里子
安富 洋
山中 光
吉村 知子

ヴィオラ

講師 恵谷 真紀子
渡邊 信一郎

チェロ

特任教授 黄原 亮司
講師 花崎 薫
三宅 進
山崎 みのり

コントラバス

講師 高山 智仁
米長 幸一

ハープ

特任教授 井上 久美子

指揮・指揮法

教授 北原 幸男
客員教授 藤井 宏樹
准教授 前田 淳
講師 大滝 実
片山 みゆき
近藤 久敦
佐藤 洋人
佐藤 正人
高井 優希
武田 晃
角田 鋼亮
時任 康文
横山 琢哉
和田 一樹

声楽

教授 小畑 朱実
佐藤 美枝子
佐橋 美起
堀内 康雄
山口 道子
特任教授 菊池 英美
松本 美和子
准教授 谷 友博
森永 朝子
講師 青地 英幸
青山 智英子
池田 京子
伊藤 晴
岩永 圭子
大川 典子
加茂下 稔
岸本 力
黒田 彰
河野 めぐみ
小林 晴美
小堀 勇介
三戸 大久
砂川 涼子
田口 久仁子
田口 宗明
立野 至美
豊嶋 祐壺
樋口 達哉
松原 友
山内 みどり

オペラ

教授 佐藤 美枝子
特任教授 岩田 達宗
佐藤 正浩
講師 島添 亮子
瀧田 亮子
谷川 瑠美

作曲・音楽理論

教授 野崎 勇喜夫
准教授 佐藤 誠一
講師 大澤 徹訓
小田 実結子
柿沼 唯
木村 真人
佐山 紀彦
侘美 秀俊
立原 勇
成宮 北斗
二宮 玲子
波立 裕矢

音楽学

教授 市川 克明
稲田 隆之
講師 石川 かおり
小倉 多美子
黒川 真理恵
白石 悠里子
菅原 修一
高橋 大海
東儀 博昭
東田 範子
長岡 英
野川 美穂子
野原 泰子
萩原 里香
東川 愛
藤田 茂
丸山 瑠子
宮崎 晴代
米田 かおり

音楽教育

教授 加藤 徹也
准教授 森田 恭子
山崎 正彦
講師 飯田 勉
岩川 みやび
大槻 秀一
大場 ゆかり
菊本 和仁
小松 康裕
近藤 靖子
齋藤 道子
佐藤 典子
佐藤 恩実
鈴木 雅之
常見 昌弘
中里 南子
中村 准子
根岸 由香
長谷川 恭子
林田 壮平
平田 亜矢
前田 賢一
町田 健児
峯村 恒平
宮本 登
山内 雅子

箏

講師 杉浦 聡

アートマネジメント

教授 上村 英郷
特任教授 中川 俊宏
准教授 赤木 舞
講師 阿部 さとみ
稲田 奈緒美
欠田 芳憲
久保 仁志
熊澤 弘
酒井 美恵
西田 俊郎
松永 路
松宮 辰太郎
守重 信郎
安田 寿之
百合山 真人
脇谷 真弓

ソルフェージュ

教授 高谷 典子
講師 伊東 光介
小川 実佐枝
岸 美奈子
齋藤 圭子
嶋田 英里
高田 幸子
館岡 真澄
仲村 亜寿実
早川 聡美

教養科目

教授 上村 英郷
高坂 朋聖
中田 淳子
武藤 康史
特任教授 中川 俊宏
講師 内野 博子
大場 ゆかり
片山 幹生
金 美京
重信 三和子
立花 史
積田 勝
中江 花菜
村山 貴子
山澤 康

外国語科目

教授 中田 淳子（英語）
准教授 原田 知子（英語）
ヨズア・バルチュ（ドイツ語）
講師 飯島 さや（英語）
京藤 好男（イタリア語）
國府方 麗夏（英語）
塩野 衛子（フランス語）
篠原 洋治（フランス語）
高田 和広（イタリア語）
塚本 美穂（英語）
中野 有希子（ドイツ語）
萩原 里香（イタリア語）
フランチェスカ・ミッショ（イタリア語）

体育科目

講師 富樫 絵理子
堀池 薫子



MUSASHINO
ACADEMIA MUSICAE

Campus Life

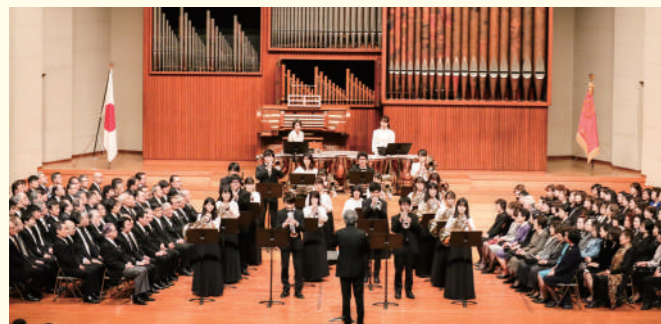
音と過ごす学生生活

ANNUAL EVENTS

年間行事



本学では、年間約120回のコンサートをはじめ、ミューズフェスティバルや選抜オーディションなど、学生一人ひとりが自分の可能性を拓けるチャンスとなる多数の行事を行っています。自ら主役となって、たくさんのお出会いと感動を体験してください。



入学式

4

April

- 入学式
- 新入生歓迎行事
- ガイダンス
- オリエンテーション
- 音楽学部卒業生新人演奏会
- 大学院修士課程在学学生コンサート



演奏旅行

5

May

- おたまじゃくしコンサート
- 大学院修士課程修了生新人演奏会
- 管弦楽団ソリスト選抜オーディション(ピアノ・管打弦)

6

June

- ニュー・ストリーム・コンサート

7

July

- ウィンドアンサンブル演奏会・演奏旅行
- 前期実技試験
- グループコンサート
- 授業研究発表
- セミナー



ニュー・ストリーム・コンサート

8

August

- 前期クラス授業科目試験
- 夏期休暇

9

September

- 管弦楽団演奏会・演奏旅行
- 選抜学生コンサート



10

October

- 選抜学生コンサート
- 室内楽演奏会

11

November

- ミューズフェスティバル(学園祭)
- オペラ選抜クラス試演会
- ニュー・ストリーム・コンサート
- 管弦楽団演奏会

12

December

- 室内合唱団演奏会
- ウィンドアンサンブル演奏会
- 年度末実技試験(～2月)
- クリスマスイベント
- 冬期休暇

1

January

- 室内楽演奏会
- 授業研究発表
- 後期クラス授業科目試験

2

February

- 卒業演奏会選抜オーディション
- 次年度授業履修者選抜オーディション

3

March

- 卒業演奏会
- 卒業式
- 卒業謝恩パーティー



室内合唱団演奏会



クリスマスイベント



卒業式

クラブ&サークル

授業、練習、勉強と忙しい中でも、クラブ・サークル活動を通じた友人たちとの交流がキャンパスライフを一層充実させます。多くのクラブ・サークルはミューズフェスティバルで、日頃の活動の成果を発表しています。



ジャズ研究部



ミュージカル研究部



邦楽部

ヴォーカルアンサンブル部/オペラ研究部/合唱研究部/華道部/サイクリング部/サッカー部/茶道部/写真部/ジャズ研究部/宗教音楽研究部/スキー部/ドイツ音楽文化研究部/バドミントン部/舞踊研究(ダンス)部/邦楽部/ミュージカル研究部/ミュージックセラピー研究部/リコーダーアンサンブル部/ワンダーフォーゲル部/けん玉同好会/ヨガ同好会/ロシア歌曲研究同好会/マーチングサークル/人狼サークル/チアダンス愛好会

Muse Festival ミューズフェスティバル(学園祭)

ミューズフェスティバルは年間最大の学友会主催イベントで、華やかに開催されます。日頃の研究成果の発表の機会として、毎年多数の学生演奏団体が出演するほか、本学管弦楽団・フルートオーケストラ・招待演奏など、質も高く内容の濃い演奏が行われます。また、クラブ団体、各楽器会による展示(クラブ活動発表等)や模擬店、そして学生たちが制作した装飾が音楽祭としての雰囲気を盛り上げています。学生が企画、運営するこのミューズフェスティバルは、大学生活におけるかけがえのない経験となるイベントです。



Campus Life

〈武蔵野音大生の生活に密着〉

演奏学科編

曾田 美音 ヴィルトゥオーゾコース ピアノ専攻 3年
武蔵野音楽大学附属高等学校出身



【展望ラウンジ"Bis"にて】

練習の合間には、友人と共に展望ラウンジ"Bis"で休憩します。素晴らしい景色を眺めながら談笑を楽しむ、癒しの時間です。



【ピアノレッスン(福井直昭先生)】

尊敬する先生と1対1のレッスン。多くのことを学べる、とても充実した時間です。様々な課題を持ち帰ることで、練習の質も高くなります。

須藤 洋亮 器楽コース 打楽器専攻 4年
埼玉栄高等学校出身



【合唱指導法研究(黒田彰先生)】

将来教育現場で教えるため、音楽家として生きていくために必要なスキルを養うだけでなく、仲間と歌う喜びや音楽の素晴らしさを学べる授業です。



【打楽器レッスン(安藤芳広先生)】

楽器やジャンルが様々な中で、全て万能的確にご指導いただいています。音楽だけでなく生活面においても親身になって接していただけます。



【声楽レッスン(山口道子先生)】

週に1回、様々な曲をレッスンしていただいた、多くのことを吸収しながら自分の可能性をさらに伸ばしていきます。



鈴木 花怜 声楽コース 4年
福島県立白河高等学校出身

【リストプラザにて】

快適なキャンパスで音楽にあふれている環境で、友人たちと切磋琢磨しながら専門的に学ぶことができます。



【ピアノレッスン(大澤恵子先生)】

恩師である大澤恵子先生のレッスン。レッスンの度に深い学びや気づきがあり、音楽的・人間的にも高めてくださる素晴らしい時間です。



市村 和奏 器楽コース ピアノ専攻 4年
群馬県立高崎女子高等学校出身

【伴奏合わせ】

オーボエの原田基さんとの伴奏合わせ。仲間と息を合わせて音楽を紡いでいくことがこんなにも楽しいのだと感じるひとときです。

武久 日向子 器楽コース オーボエ専攻 4年
徳島市立高等学校出身



【様々な音楽の演奏実践(西洋古楽)(石川かおり先生)】

様々な楽器に触れることができるのは音楽大学の特権です。ヴィオラ・ダ・ガンバという楽器を通じて、古い時代の音楽を学びます。



【伴奏合わせ】

伴奏合わせは2人で音楽を作っていく特別な時間。お互いの感覚を丁寧に共有します。大切な仲間と共に成長していけるのはとても幸せなことです。

高橋 まりあ 器楽コース コントラバス専攻 4年
神奈川県立藤沢総合高等学校出身



【キャンパスレストラン"Intermezzo"にて】

利用するのは、テスト勉強時。気付けば、多くの友人や先輩と仲良くなるため、人脈が広がる!そして、これは友人と沢山の譜面を広げ、表現や解釈の討論会を開催中!



【コントラバスレッスン(高山智仁先生)】

この時間は、「一週間の中で、一番楽しみなこと!」と言っても過言ではない程の存在。常に先生の技を盗もうと、そしてどれだけ吸収できるか奮闘してます!

Campus Life

〈武蔵野音大生の生活に密着〉

音楽総合学科編



池田 奏恵 音楽教育コース 4年
松戸市立松戸高等学校出身

まさに私の夢と憧れ、演奏家としての姿と、指導者としての姿。敬愛する先生の背中を追いかけて音を探し求める日々です。



【声乐レッスン(立野至美先生)】

篠原 知也 作曲コース 4年
千葉県立千葉東高等学校出身

レッスンや授業以外にも、練習室で仲間と音楽について分析したり議論したりする時間は、濃密でとても充実しています。



【練習室にて】

佐久間 優響 アートマネジメントコース 4年
専修大学附属高等学校出身

劇場音響概論の授業では、後期にラジオドラマを制作します。題材を決め、台詞を吹き込み、音楽や効果音を考えて編集します。マイクやソフトウェアを使用する授業はとても勉強になります。



【劇場音響概論】

高岡 愛実 音楽学コース 4年
富山県立富山中部高等学校出身

主に近現代の作曲家に関する文献を読み、作品を先生や級友と共に楽曲分析します。議論を通して自分では気づけなかった新しい学びが得られます。



【特別演習(白石悠里子先生)】

私が武蔵野音楽大学を選んだ理由



安達 琴音

演奏学科
ヴィルトゥオーゾコース
ピアノ専攻2年
埼玉県立芸術総合高等学校出身

落ち着いた雰囲気です音楽を学ぶ

私が本学を志望した理由は、オープンキャンパスや受験講習会を受講し、武蔵野音楽大学で学びたいと強く思ったからです。本学はカリキュラムも充実していて演奏する上で大切な知識を様々な角度から学ぶことができます。そして質の高いレッスンを受けることもできます。校内は設備が整い、雰囲気はとても穏やかで先生方や仲間達も温かくとても過ごしやすいキャンパスライフを送ることができる素晴らしい環境です。



島田 翠

演奏学科
ヴィルトゥオーゾコース
トランペット専攻2年
栃木県立佐野高等学校出身

本気で音楽に向き合える環境

私が本学を志望したきっかけは、高校時代に参加していた講習会でのレッスンで、久保義一先生に出会ったことです。私は普通科出身で、当時は大学の先生のレッスンを受けたことがなく、伸び悩んでいた時期もあったのですが、先生と出会って自分でも実感するほどの伸びを得られ、また先生の音楽への熱意に触れたことで、改めて音楽の楽しさや奥深さを知るきっかけになりました。本学には音楽に熱心に向き合っている先生方が沢山いらっしゃるの、真摯に音楽に打ち込める素晴らしい環境だと思います。



岩下 柚貴

演奏学科
ヴィルトゥオーゾコース
ハープ専攻2年
長野県小諸高等学校出身

憧れの先生を目指し進む未来

本学を志望した理由は井上久美子先生に師事したいと思ったからです。初めてレッスンを受けた時、確かなテクニックに基づく曲作りをご指導いただきました。短い時間ながら、自身の技術向上や感覚の変化を肌で感じ、感動したのを今でも覚えています。日々のレッスンだけではなく、室内楽や合奏においても、偉大な先生方にご指導いただけることは大きな魅力です。そして、志を同じくした新たな仲間との出会いも自分の世界を広げてくれます。



三上 虎之介

音楽総合学科
作曲コース2年
弘前学院聖愛高等学校出身

切磋琢磨できる仲間と環境

私が武蔵野音楽大学を選んだきっかけは、成宮北斗先生に出会いレッスンを受けた際、その豊かな音楽性に感激し先生の音楽を吸収したいと思ったからです。本学は先生方のご指導も手厚く、演奏技術や理論は勿論、毎週のレッスンで新しい発見を与えてくださいます。また周りからも多くの刺激を受けながら学ぶことができ充実した学修生活を送れる素晴らしい環境だと思います。

キャンパス トピックス

コンサート

本学では、多くの舞台経験ができるよう、管弦楽、吹奏楽、合唱の定期演奏会やオペラ公演、選抜学生コンサート、学生による演奏会など、学生自らが日頃の研究成果を発表する演奏会を多数開催しています。

また、著名な内外の演奏家を多く招聘し、第一級の音楽を聴く機会を積極的に提供しています。これらのコンサートや公開講座を、本学学生は無料で聴くことができます。

- ① ウィンドアンサンブル演奏会
- ② ポストン・プラス 公開講座&ミニ・コンサート
- ③⑩⑱ ニュー・ストリーム・コンサート
- ④⑬⑯ 音楽学部新人演奏会
- ⑤ 室内合唱団演奏会
- ⑥⑮ 管弦楽団演奏会
- ⑦ 室内楽演奏会
- ⑧ 入間市民コンサート 管弦楽団演奏会
- ⑨⑫ 武蔵野音楽大学教員による室内楽の夕べ
- ⑪ 坂東玉三郎特別招聘教授 公開講座
- ⑭ イリヤ・イーティン ピアノ・リサイタル
- ⑮ 管弦楽団演奏会 指揮：飯森範親
- ⑯ 崔文洙 ヴァイオリン コンサート&公開講座



Campus Topics

キャンパス
トピックス

演奏旅行

本学では、国内外でオーケストラ、ウィンドアンサンブルなどの演奏旅行を行っています。

国内の演奏旅行は、同窓生のサポートを受け毎年全国各地で行っています。また、1977年の第1回ヨーロッパ演奏旅行以来、長年にわたり海外演奏旅行も実施しています。

- ① テリー・オースティン客員教授、リチャード・メイン客員教授、レイ・E. クレーマー名誉教授、クリストファー・マーティン氏(客演ソリスト)、ジェームズ・M. ランブレクト客員教授
／ミッドウェスト・クリニック：シカゴ(アメリカ)
- ② ミッドウェスト・クリニック：シカゴ(アメリカ)
- ③ ミッドウェスト・クリニック会場にて：シカゴ(アメリカ)
- ④ 日本吹奏楽指導者クリニック：静岡県
- ⑤ レイ・E. クレーマー名誉教授
／日本吹奏楽指導者クリニック：静岡県
- ⑥ 日本吹奏楽指導者クリニック
サクソフォーン独奏：住谷美帆：静岡県
- ⑦ ハイスタッフホール：香川県
- ⑧ 演奏旅行先中学生へのパート別レッスン：香川県
- ⑨ 演奏旅行先同窓生との交流会：栃木県
- ⑩ ヘラクレスザール：ミュンヘン(ドイツ)
- ⑪ リスト音楽院：ブダペスト(ハンガリー)
- ⑫ ヨゼフ・ツィルヒ名誉教授
：レーゲンスブルク(ドイツ)
- ⑬ バイロイト祝祭劇場：ドイツ



大学院・別科

大学院音楽研究科

大学院では、充実した教員組織と施設、設備のもとで、理論と応用、演奏と創作芸術を研究し、音楽芸術を深く究めます。国際的にも通用する優れた演奏家、研究者、教育者を社会に送り出しています。

■ 博士前期課程（修士課程）

修士課程では、それぞれの専攻する分野において、より高いレベルの技術・能力の修得を目指し、レッスン、研究に取り組みます。伴奏を含むアンサンブル技術、楽曲や資料等の分析能力等においても、学士課程での学びをベースに高度な専門性を追究します。修了者は、プロの演奏家や研究者、教育者として活躍しています。

なお、ヴィルトゥオーソコースを含む器楽専攻（ピアノ）の学生で、修了時に最優秀の成績を修めた者には、日本の音楽界に多大な貢献を果たした故レオニード・クロイツァー教授の功績を記念して制定された「クロイツァー賞」が授与されます。

博士前期課程（修士課程）	学位	学位審査
器楽専攻	器楽コース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器） ヴィルトゥオーソコース（有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器） ピアノコラボレィティヴァーツコース	●所定の授業科目30単位以上を修得 ●専攻実技の修了試験、修士論文等の審査 ※ただしヴィルトゥオーソコースは修士論文を課さない。
声楽専攻	声楽コース ヴィルトゥオーソコース（声楽）	
作曲専攻	修士（音楽）	
音楽学専攻	修士（音楽学）	
音楽教育専攻	修士（音楽）	

入学定員：65名 標準修業年限：2年 ただし4年間の在学研究が可能。また通算して3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

ピアノコラボレィティヴァーツコース

ピアノコラボレィティヴァーツとは、声楽家や器楽奏者など、共演者とともに音楽を創り出していくコラボレィティヴピアニストを養成するコースです。経験豊かな講師陣が器楽・声楽・オペラなどの分野を体系的、実践的に幅広く指導し、その成果を定期的に発表して舞台経験を積み重ねていきます。




■ 博士後期課程

器楽および声楽の研究領域では毎年リサイタル形式の公開演奏試験があり、作曲の研究領域では毎年作曲作品の審査があります。学位を取得した者は、その高度な知識と専門性を活かして、演奏、創作、研究、教育など、さまざまな分野で自立した活動をするチャンスが開かれます。

博士後期課程	学位	学位審査
音楽専攻	器楽研究領域	●所定の授業科目10単位以上を修得 ●研究領域ごとに定められている学位審査
	声楽研究領域	
	作曲研究領域	
	音楽学研究領域	
	音楽教育研究領域	

入学定員：10名 標準修業年限：3年 ただし5年間の在学研究が可能。さらに3年間の範囲で留学等による休学が認められる。

以下のQRコード、URLからご覧ください。

アドミッション・ポリシー (入学受入れの方針) https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/admission_policy		カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針) https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/curriculum_policy		ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) https://www.musashino-music.ac.jp/graduate/graduate/diploma_policy	
---	---	--	---	--	---

別科

別科は、音楽を志す幅広い年齢層を対象に、音楽の技術および知識のレベルアップを図ることを目的としています。実技科目である週1回の個人レッスンと、学科目である「西洋音楽史Ⅰ」「西洋音楽史Ⅱ」「音楽理論Ⅰ」「音楽理論Ⅱ」を受講することができます。1年間で実技科目と2科目以上の学科目を履修し、それぞれ2/3以上を出席したうえで、実技科目の修了審査に合格した者に修了証書を授与します。

別科生は在学中、武蔵野音楽大学の学生としてサポートが受けられます。

別科

別科	有鍵楽器・管楽器・打楽器・弦楽器
器楽コース	
声楽コース	
作曲コース	
指揮コース	

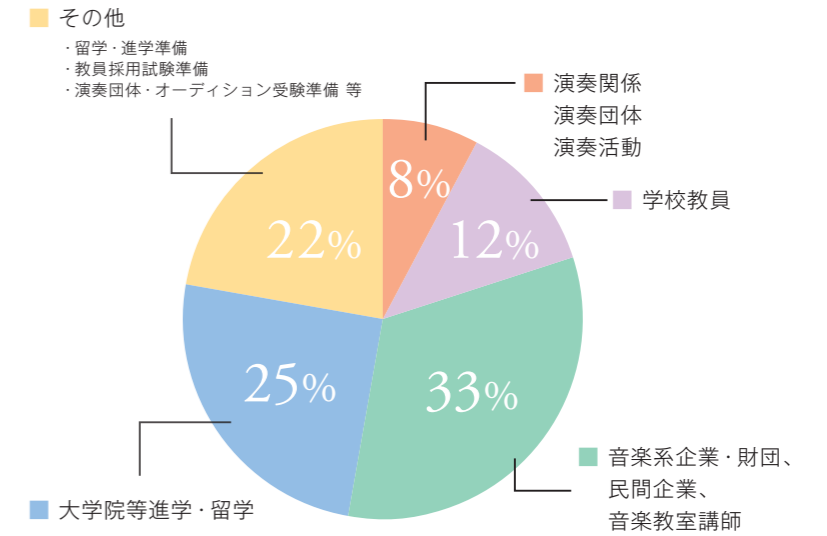
入学定員：80名 修業年限：1年 対象：高等学校卒業同等以上
※詳細は別科入学試験要項でご確認ください。

進路状況

2022年度実績

かつての音楽大学生の就職先は、オーケストラや合唱などの演奏団体、教員関係や音楽教室講師などが主なものでした。しかし、最近ではアートマネジメントなど音楽関連マーケットが拡がり、さまざまな分野の企業が音楽の素養を持つ人材を求めており、本学でも卒業生の活躍するフィールドの幅が広がっています。

また、卒業後にさらなる研鑽を積むため、大学院進学、留学、研修員、研究生などを希望し、演奏家を目指す学生も相当数にのぼります。



・近年の主な就職先

演奏団体：スタヴァンゲル交響楽団（ノルウェー）/ジュール・フィルハーモニー管弦楽団（ハンガリー）/チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団（チェコ共和国）/ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団（オランダ）/ウィーン・フォルクスオーパー（オーストリア）/ピアチェンツァ歌劇場合唱団（イタリア）/フィンランド国立歌劇場合唱団（フィンランド）/ミラノ・スカラ座合唱団（イタリア）/プフォルツハイム市立歌劇場（ドイツ）/リリック・オペラ・オブ・シカゴ（アメリカ）/NHK交響楽団/大阪交響楽団/神奈川フィルハーモニー管弦楽団/九州交響楽団/群馬交響楽団/新日本フィルハーモニー交響楽団/セントラル愛知交響楽団/東京交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/日本フィルハーモニー交響楽団/富士山静岡交響楽団/山形交響楽団/東京佼成ウインドオーケストラ/フォレスト/新国立劇場合唱団/東京混声合唱団/陸・海・空自衛隊音楽隊/埼玉県警察音楽隊/千葉県警察音楽隊/名古屋市消防音楽隊/横浜市消防音楽隊/Kバレエカンパニー（ピアノ伴奏） 他

教員関係：帝京科学大学/有明教育芸術短期大学/札幌こども専門学校/岩倉高等学校/慶應義塾女子高等学校/芝浦工業大学附属中学高等学校/千葉英和高等学校/新島学園中学校・高等学校/日本工業大学駒場高等学校/明秀学園日立高等学校/八千代松陰中学校・高等学校/山村国際高等学校/清明学園中等部/開智望小学校/暁星国際流山小学校/聖セシリア小学校/瀬戸 SOLAN 小学校/捜真小学校/星野学園小学校 他公立・私立学校教員採用者多数

音楽系企業：オフィス新音/河合楽器製作所/劇団四季/シアターワークショップ/島村楽器/下倉楽器/スガミ楽器/タク/特定ラジオマイク運用調整機構/ノア/ハーモニージャパン/ハンナ/ホッタガクフ/宮地楽器/村松楽器販売/村松フルート製作所/山野楽器/ヤマハ/ヤマハミュージックジャパン 他

音楽系財団：市川市文化振興財団（市川市文化会館）/(公財)群馬交響楽団/新国立劇場運営財団/所沢市文化振興事業団（所沢市民文化センター ミューズ）/とちぎ未来づくり財団/練馬区文化振興協会（練馬文化センター）/武蔵野文化生涯学習事業団（武蔵野市民文化会館） 他

音楽教室講師：アミーズ音楽教室/エークラスミュージック/音楽工房ピアスタ/カワイ音楽教室/小林音楽教室/サクライ楽器/島村楽器/信学会/並木音楽教室/深川音楽教室/宮地商会/山野楽器/ヤマハ音楽教室 他楽器店

民間企業：青森銀行/秋田県仙北市役所/アダストリア/アニエスベージュ/イオン銀行/NTTデータエマーズ/オリエンタルランド/カシオ計算機/カメラのキタムラ/きらぼし銀行/ゴディバジャパン/埼玉医科大学病院/ザ・キャピトルホテル東急/静岡朝日テレビ/スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイル カンパニー/スターバックスコーヒー/住友生命保険/住友不動産販売/セイコーエプソン/仙台銀行/セントラル警備保障/全日本空輸(ANA)/Zoff/第一生命保険/チャコット/TBSスパークル/東京セキスイハイム/TRUNK HOTEL/日本印刷/日本生命保険/日本郵便/東日本旅客鉄道(JR東日本)/富国生命保険/ブックオフコーポレーション/北洋銀行/ほけんの窓口グループ/舞浜コーポレーション/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三井住友トラスト不動産/三井物産/三井物産ビジネスパートナーズ/三井不動産ホテルマネジメント/三越伊勢丹ホールディングス/三菱UFJ不動産販売/明治安田生命保険/USEN-NEXT GROUP/ランドマーク税理士法人/LIXILトータル販売/りそなグループ/レバレッジズ/WOWOW/ワコール 他

・近年の主な留学先

・アムステルダム音楽院（オランダ）
 ・イモラ国際ピアノアカデミー（イタリア）
 ・インディアナ大学ジェイコブズ音楽院（アメリカ）
 ・ウィーン国立音楽大学（オーストリア）
 ・エコールノルマル音楽院（フランス）
 ・ケルン音楽舞踊大学（ドイツ）
 ・シュトゥットガルト音楽演劇大学 大学院（ドイツ）
 ・ジュリアード音楽院（アメリカ）
 ・スコラ・カントルム（フランス）
 ・パリ地方音楽院（フランス）
 ・バルマ音楽院
 ・"アツリーゴ・ボーイト"（イタリア）
 ・ハンズ・アイスラー音楽大学（ドイツ）
 ・ハンブルク音楽演劇大学（ドイツ）
 ・プラハ芸術アカデミー（チェコ共和国）
 ・ブリュッセル王立音楽院（ベルギー）
 ・ベルリン芸術大学（ドイツ）
 ・ボストン音楽院（アメリカ）
 ・マーストリヒト音楽院（オランダ）
 ・マンハイム国立音楽舞台芸術大学（ドイツ）
 ・ミラノ音楽院（イタリア）
 ・ロストック音楽演劇大学大学院（ドイツ）
 他



キャリアサポート

本学では、就職課がキャリアサポートを担当しています。職員にはキャリアコンサルタントの国家資格をもつ者もあり、教員と連携をとりながら、就職・進学に関する相談に対応しています。また、卒業後のそれぞれの進路に応じ、以下のような特色ある支援を実施しています。

就活セミナー

主に、民間企業への就職を希望する学生を対象に「就活セミナー」を実施しています。「筆記試験」「面接」「グループディスカッション」などの実践を交えたテーマごとの対策により、本選考に自信を持って臨むことができます。

就活概論/適職診断/インターンシップ/筆記試験/エントリーシート/履歴書の書き方/面接(個人・集団)のポイント/グループディスカッション/時事問題対策 など



業種別ガイダンス

これから就職活動をする学生に対して、就職活動をする上で必要となる様々な情報を業種別に提供しています。特に、内定を得た4年次生から、就職活動の体験談や受験時の様子、勉強法などについて具体的な話を聞く機会を設けており、それぞれの就職活動に役立てられています。

民間企業(音楽系企業を含む)/音楽教室講師/教員(公立・私立)



企業等説明会

企業や団体の方を招いて説明会を実施しています。企業・団体等に勤務または所属した卒業生に加わっていただき、学業と就職活動をどのように両立したかなど、様々な体験談を聞く機会を設けています。

自衛隊音楽隊/警察音楽隊/ヤマハ音楽振興会/島村楽器/サクライ楽器/ヤマハ吹奏楽団/劇団四季/二期会/日本オペラ振興会/民間企業(音楽系企業を含む) など



教員・音楽教室講師を目指す人のための特別講座

公立学校教員採用候補者選考と音楽教室講師の受験対策として、以下の講座を実施しています。

「教職教養講座」…学校教育法・学習指導要領・教育理論・教育時事等について学びます。

「音楽専門教養講座」…公立学校教員採用候補者選考で、中・高音楽の教科書から出題される事項を中心に学びます。

「論作文講座」…各都道府県の公立学校教員採用候補者選考で求められる論作文の基本的な記述力を身につけ、さらに最近の出題傾向を把握し、重要な教育課題や具体的な問題解決の方策について理解を深めます。

「実技講座」…コードネームを用いた弾き歌い・伴奏付け・新曲視唱・初見演奏等の能力を身につけます。本講座は音楽教室講師を目指す方も対象としています。

教員採用試験対策

公立学校教員採用候補者選考の受験者を対象に、本学音楽教育コースの教員および外部講師を招いて「一次選考対策講座」および「二次選考対策講座」を実施しています。模擬授業や面接、実技、論作文の記述法などについて、実践的で細やかな指導を行っています。また、「教員採用模擬試験(全国模試・県別対策模試)」を学内で受験する機会を設けています。

私立学校教員を目指す学生には、履歴書や作文の添削、模擬面接等の指導を行っています。

個人面談(大学2・3年次生対象)

大学2・3年次生全員を対象に個人面談を実施しています。大学2年次生の面談では、将来の希望や目標を確認し、準備開始時期・内容について確認します。大学3年次生の面談では、明確なキャリアプランを立て、「今、何をすべきか」を一緒に考え、そのための具体的な情報を提供します。進路の悩みについて解決策を一緒に考えるなど、学生一人ひとりに寄り添ったサポートをしています。



個別支援

進路に関して不安や悩みを抱える学生に対し、個別相談を受け付けています。

また、就職を希望する学生には、エントリーシート・履歴書・作文の添削等の指導を随時行っています。音大生ならではの強みや一人ひとりの個性を活かしたPRができるようアドバイスしています。

また、模擬面接も行っており、面接のスキルアップに向けた練習をしています。併せて、社会生活で役立つ言動や礼儀作法も指導しています。



卒業生の活躍

GURADUATE SUCCESS



©Marco Borggreve

音楽を通じて人間としても成長。 世界の舞台へと押し出してくれた特別な学び舎

オペラ歌手(バリトン) **大西 宇宙**

本大学 音楽学部 声楽学科卒業
本大学院修士課程修了

音楽大学という場で培った技術、知識、実践力といったことも勿論ですが、様々な才能や個性を持つ仲間達との出逢いが、私を今の国際舞台に押し上げてくれた原動力だと思います。また、音楽家として以前に、人間としていかにあるべきか、と言うことを学んだ場所でもありました。素晴らしい環境で、様々なことに柔軟に挑戦していきましょう。

Profile

武蔵野音楽大学首席卒業、同大学院首席修了。ジュリアード音楽院で優秀な成績を残し、多くの国際コンクールで優勝した。米国のオペラ・ハウスでデビュー・活躍し、日本でもNHK交響楽団、セイジ・オザワ松本フェスティバル等でも重要な公演のソリストを歴任。現在も国内外でさまざまな演奏活動を展開している。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



© 阪島 隆 / 兵庫県立芸術文化センター



先生との出会いが 大学時代の一番の思い出

歌手・NHK「おかあさんといっしょ」第17代 歌のお姉さん **茂森 あゆみ**

本大学 音楽学部 声楽学科卒業

大学生活で一番の思い出は、歌のレッスンです。私の先生は調子のいい日も悪い日も「いいぞ！良い声だ！」と、とにかく褒めてくださる方でした。おかげでいつもリラックスした状態で魔法にかかったかのように声が出るようになりました。恩師に勧められ在学中に始めたNHK「歌のお姉さん」は、私の人生を大きく変えました。先生が常に寄り添い、そばで見守りながら応援して下さいました。先生のおかげで今の私があると感謝しています。

Profile

武蔵野音楽大学附属高等学校、武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。1993年～1999年NHK「おかあさんといっしょ」第17代歌のお姉さん。2003年～2013年NHK音楽番組「クインテット」アリアの声優を担当。3兄妹の母。現在、育児をしながら、コンサート開催等の活動をしている。



音楽に没頭できる、 新しい未来を作る環境

ピアニタレント **永藤 まな(まなまる)**

本大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻卒業

音楽は向き合う時間が長ければ長いほど、未来は広がっていくと感じています。そのためには環境もとても大切です。武蔵野音楽大学で学んだ4年間、ピアノだけでなく、充実したカリキュラムやサポートのもと、様々な方向から「音楽」を吸収することができました。そしてキャンパス、先生、学友、そして街…どれもかけがえのない私のピースです。

音楽には無限の可能性があります！ぜひ探求し、没頭してみてください。みなさんの素敵な未来の扉が開かれますように！

Profile

2016年より永藤まな名義で活動を開始。ピアノ演奏のみならず、そのタレント性から各方面で積極的に活動中。また、クレヨンしんちゃんの歌モノマネ「もしもクレヨンしんちゃんがOOを歌ってみたら」が各SNSで反響を呼び、さらに注目を浴びる。現在、TBS朝の情報番組「THE TIME」にてレギュラー出演中。

自分次第で無限に広げられる 学びの領域

バレエピアニスト **蛭崎 あゆみ**

本大学 音楽学部 器楽学科 ピアノ専攻卒業

大学時代には、ソロのピアノ以外にもアンサンブルを学ぶことが出来る機会が豊富にあり、仲間と一緒に作品を学び、共に作り上げる楽しさを知りました。バレエの世界はまさに踊り、音楽、美術の分野の人間が集まって作り上げる総合芸術で、大学時代の経験が私の現在のバレエピアニストという仕事につながっています。

素晴らしい環境のもとで学びに集中できる4年間、存分に活かして自分の可能性を広げて下さい。

Profile

武蔵野音楽大学卒業。蛭崎裕子、鈴木洋、ペラ・シキに師事。2004年パリオペラ座バレエピアニストコンクールに入賞。2006年バレエピアニストとして初の文化庁在外研修員としてウィーン国立オペラ座バレエ団にて研鑽を積む。現在新国立劇場バレエ団カンパニーピアニスト。



©N.Ikegami/TSO

自分の小さな世界の価値観を壊し 新たな自分の音楽を創り続ける

東京交響楽団ホルン奏者 **加藤 智浩**

本大学 音楽学部 器楽学科 ホルン専攻卒業

表現者としてどうありたいか、在学中から意識している事の一つです。才能・個性を持つ仲間と過ごし、素晴らしい先生方から学んだ4年間は、自分の表現力に大きな影響を与えました。枠にとらわれる事なく今後もさまざまな場で演奏していきたいです。武蔵野音楽大学で過ごす時間、出会いが皆さんの人生の宝物になりますように。

Profile

武蔵野音楽大学卒業。第26回ヤマハ管楽器新人演奏会出演。神奈川フィルハーモニー管弦楽団(期間契約団員)、シエナウインドオーケストラを経て現在東京交響楽団正楽団員。これまでにホルンを島方晴康、故伊藤泰世、須山芳博、丸山勉、日高剛の各氏に、室内楽を白尾隆、吉岡アカリの両氏に師事。



様々な出会いと全ての経験を活かして、より良い音楽へ

オペラ歌手(ソプラノ) **土屋 優子**

本大学 音楽学部 声楽学科卒業、本大学院修士課程修了

何事にもチャレンジしてキャリアを積んでいるのは、多方面から支えていただき、さまざまなことに挑戦させてくださった先生方のおかげです。武蔵野音大で知り合えたたくさんの素敵な先生・友人たちとの出会いと、勉強に集中できた環境が、私の音楽の基礎となっています。

これから皆さんも沢山のひととの出会いの中で、興味がある事には全て挑戦してみてください。良いことも悪いことも、全てあなたの音楽の糧になるはずですよ。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。東京二期会オペラ研修所修了。イタリア・パルマ音楽院修了。第54回日伊コンコロソ第1位、第9回マリア・マリブラン国際声楽コンクール(イタリア)オペラ部門第1位等、国内外で受賞歴多数。2022年、イタリア・ブッチーニ音楽祭にて《トゥーランドット》表題役にて出演。二期会会員。



音楽が好きな気持ちを忘れず、希望を持ち、時を大切に突き進む

セントラル愛知交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者 **片山 陽平**

本大学 音楽学部 器楽学科 ティンパニ専攻卒業

今、受験に向けての準備で頭が一杯かと思います。モチベーションやコンディションを保つ事、苦勞されているかと思いますが、決して無駄ではありません。一生の財産です。皆様音楽を始めた切っ掛けは音楽が好きという気持ちからスタートしたかと思いますが、行き詰まった時は様々な景色に身を寄せてみて下さい。きっとそれが音楽に良いエッセンスを与えてくれるでしょう。自分の色を大切に探究心を。

Profile

アフィニス夏の音楽祭、小澤征爾音楽塾、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ、International percussion music radio festivalなどに出演をする他、日本各地のプロオーケストラに首席客演または客演をしている。セントラル愛知交響楽団首席ティンパニ・打楽器奏者。豊田市ジュニアオーケストラ、横山フィルハーモニーオーケストラ 等講師。

数々の出会いや挑戦の機会が、創作の幅を広げる。

作曲家 **小田 実結子**

本大学 音楽学部 作曲学科卒業、本大学院修士課程修了

武蔵野では、多彩な講義や豊富な作品発表の機会を通じ、一人で学ぶだけでは気づけない数々の発見に出会いました。熱心に作品を研究してくれる演奏者、的確なアドバイスをくださる先生方、信頼して作編曲を任せてくれる友人、様々な企画やコンクールへの挑戦。その中で積み重ねた知識や試行錯誤は、今も創作活動を支える根幹となっています。

Profile

作曲を野崎勇喜夫、佐藤誠一の各氏に師事。奏楽堂日本歌曲コンクール第24回作曲部門第2位・中田喜直賞・畑中良輔賞受賞。Midwest Clinio主催第1回Barbara Buehlman作曲コンクール中学校バンド向け作品部門第1位。東京交響楽団&サントリーホール主催第1回新曲チャレンジ・プロジェクトにて作品採用。2024年度より本大学講師。



©Shin Yamagishi

音楽の追求とは、自分と向き合うことです

新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者 **神農 広樹**

本大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース オーボエ専攻卒業

音楽に向き合うということ、それは自分の弱さを見つめることであり、この世界の広さを知ることであります。弱い自分と戦い続けるためには、幅広い選択肢を示してくれる先達、同じように音楽の高みを目指す仲間、そして自分には考えもつかないようなアイデアを持った友人たちが必要です。武蔵野音大にはあなたが探しに行きさえすれば、そのすべてがあります。音楽の奥深い世界を探索し、大きく成長するチャンスを掴んで下さい。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、トロツィンゲン音楽大学院修了。第91回日本音楽コンクールオーボエ部門第2位。兵庫芸術文化センター管弦楽団オーボエ奏者を経て新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者。



©New Japan Philharmonic

素晴らしい環境で学び、自分の可能性を広げていく喜び

日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者 **山口 雅之**

本大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース コントラバス専攻卒業

大学での授業やさまざまなイベントを通して、素晴らしい先生方や友人たちとの出会いがありました。武蔵野で培った音楽性や人間性は今の自分の基盤となっています。大学での4年間は他では出来ない経験ができる、一生の中でも特別な時期だと思います。音楽に限らずたくさんのものを見たり、聴いたり、味わったりして、自分の可能性を広げていってほしいです。

Profile

武蔵野音楽大学卒業、同大学別科修了。第21回長江杯国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第2位(1位なし)入賞。第20回 演奏家コンクール弦楽器部門 大学生の部入賞。2019年より日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。コントラバスを亀子政孝、高山智仁両氏に師事。



©吉田タカユキ

ソリスト、室内楽奏者として活動する力とプロ意識を培った6年間

ピアニスト **木林 理絵**

本大学 音楽学部 ヴィルトゥオーゾ学科卒業、本大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース修了

大学で外国人の先生に師事させていただいたことで、海外で学ぶことの大切さを知りました。また、長いプログラムの試験や演奏会の機会が多くあり、舞台に立つ経験とレパートリーを増やせたことが、今の演奏活動の大きな力となっています。その他にも、舞台マナーやメンタルトレーニングの授業など、実技以外に重要なこともたくさん学べました。ここでの出会いと経験、時間がかけがえのないものになりますように。

Profile

武蔵野音楽大学大学院ヴィルトゥオーゾコース修了後、渡独。カールスルーエ音楽大学にて国家演奏家資格取得。フランクフルト音楽・舞台芸術大学院在籍中に「Piano Trio Hannari」を結成し、ソロ・トリオ共にコンクール受賞歴多数。現在フランクフルト音楽・舞台芸術大学常勤講師。



学生時代の時間は貴重です。色々な経験が音楽を豊かにしてくれます。

劇団四季俳優 **清水 智紗子**

本大学 音楽学部 ヴィルトゥオーゾ学科卒業、本大学院修士課程修了

学生時代は複数の言語の歌曲に触れる為、自分がどの言語を勉強したいかを考える機会を得ました。オペラ選抜クラスではお芝居の基礎を学び、役について考える楽しさ、演じながら歌う事の楽しさを経験しました。レッスン、試験での先生方のご指導の他、図書館を活用し、声楽を様々な方面から思う存分追求出来る期間でした。何事も経験です。どんな事からも学びを見つけ、極めたい事を諦めずに挑戦していきましょう。

Profile

2013、2018年度武蔵野音楽大学福井直秋記念奨学生。第14回日本演奏家コンクール第1位。第23回日本クラシック音楽コンクール最高位。第10回横浜国際音楽コンクール最高位。第71回全日本学生音楽コンクール東京大会入賞。2018年劇団四季研究所入所。出演作品「エビータ」、「オペラ座の怪人」、「バケモノの子」蓮の母役。





桐蔭学園小学校主幹教諭
玉川大学非常勤講師

岩井 智宏

本大学卒業、2004年本大学院修了課程修了 ピアノ

大学時代を振り返ってみると、武蔵野では音楽を通して「人間力」というものを学ばせて頂いたことを卒業して実感しています。専門の楽器を諦めずに研鑽していくなかで、温かい先輩・後輩・友人達との音楽談義、素晴らしい先生方との出会い、熱くなれる学園行事、これらの一つ一つが人間力へとつながり、現在の仕事に大きく影響しています。

今、私は小学校音楽教師の傍ら、大学講師、本の執筆、全国各地での講演、ピアノ演奏も続けています。様々なことに取り組もうと思える心情は、まさに武蔵野での学びが根底をつくってくれました。専門的な音楽を学べ、社会を生き抜くための人間力を磨いてくれる武蔵野でのキャンパスライフを是非味わってほしいです。



公益財団法人 サントリー芸術財団
サントリーホール 企画制作部

曾武川 和之

2013年 本大学卒業 打楽器

コンサートホールの現場で、世界中から集まる音楽家やたくさんのお客様と接し、日々音楽の輝きと魅力を感じています。しかし音大にはその輝きの陰の難難辛苦があふれるほどあります。「上手ければそのうちプロなれると思ってた」「自分の方が上手いはずなのに」「自分以外みんな上手い」様々な想いをし、時に夢破れることもあると思います。私もそうでした。そしてもし後悔しても、その責任は自分で取るしかありません。しかし音大には何度でも学び、成長するためのたくさん環境と機会が用意されています。困ったときや辛いときには飲み物を片手に話ができる仲間や先生がきっといるはず。皆さんと音楽との魅力的な未来が見つかることを願っています。



全日本空輸株式会社 (ANA)

金山 堇

2018年 本大学卒業 ピアノ

在学中は、専攻のピアノや教職課程に加えて、英語やその他の語学の勉強にも力を入れていました。また、レッスンや実技試験を通して、努力し続ける姿勢や礼儀に合う振る舞いも身についたと感じています。

現在は客室乗務員として、周りのクルーと個性や価値観を認め合い、助け合いながら、楽しくあたたかいフライトづくりに努めています。そして何より保安要員として、お客様に安心し安全を感じていただけるフライトを心がけ、とても仕事にやりがいを感じています。国内線、国際線乗務で訪れる各地では、様々な文化に触れることができ、価値観や見聞が広がることもこの仕事の醍醐味だと思います。

公益財団法人東京都交響楽団 演奏統括部

竹末 健太郎

2007年 本大学卒業 トロンボーン

在学中から様々な公演の制作に関わってきた経験を活かして、卒業時にはオーケストラを運営・サポートする側として働きたいと思い、現在は東京都交響楽団にて公演や音楽祭の制作に携わっています。

音楽の現場や制作では、多角的な視点と柔軟な対応が求められる事が多々ありますが、武蔵野音大はそれらを学べる機会が十分にある母校だと思っています。

受験生の皆さんはこれからたくさんの事を「選択」していくかと思いますが、「どこで学んで経験をするか、自分の未来の姿を想像してみると良いかもしれません。



株式会社オリエンタルランド

安西 慎也

2018年 本大学卒業 音楽環境運営 (現アートマネジメント)

現在は、テーマパーク内のショーを作るためのリハーサル計画などを行い、日々のショーをオペレーションするステージマネージャーというお仕事をしています。

在学中は、自分で考えた照明の中で演奏を行ったり、音楽スタジオで録音した音源を編集したり、コンサートや美術展示の企画などをしたりと、マネジメントを学びながら実践的な経験もたくさん積ませていただきました。現職の仕事の中でも、当時の経験が生きる場面を非常に多く感じられます。

アートマネジメントコースは、芸術を届けるまでの過程を、知識と経験の2つの側面から学べる場だと思います。また、エンターテインメントを支える側の知識だけでなく、音大生として出演者としての思いや準備も経験できることは大きな魅力です。ぜひ武蔵野音楽大学で実りあるキャンパスライフを送ってください。



航空自衛隊 航空中央音楽隊

内田 爽太

2022年 本大学卒業 ファゴット

私は演奏家として日本各地・海外で活動することを夢見て武蔵野音大に入学しました。

大学の多種多彩なホールで学び、都内の著名なコンサートホールで演奏した経験は夢への近道となりました。学校内で演奏する機会も多く、専攻楽器の先生はもちろん、他楽器の先生からも音楽芸術の研鑽を積むことができました。

就職後は日本全国のホールや日本武道館などで演奏しています。海外で演奏する仕事もあり、海外で働かれていた先生から大学時代に学んだことを身をもって経験できたことは大学時代と今を結ぶ思い出となっています。

江古田キャンパスの充実した練習環境で、時にはライバルとなり高みを目指す仲間と共に切磋琢磨した先に、夢を実現できると体感しました。



西東京市立田無第二中学校 特別支援教室 教諭

元紺谷 みやび

2022年 本大学卒業 音楽教育 クラリネット

在学中は、専攻に加え、副科や授業を活用して、実際に経験しながら幅広く音楽を学ぶことに力を入れました。また音楽教育コースは、模擬授業など実際の教育現場を想定した授業も多く、教員を目指す仲間と互いに高め合いながら学ぶことができたと感じています。

現在は、特別支援教室でコミュニケーションの取り方や自己管理の仕方などを教えつつ、吹奏楽部の顧問をしています。音楽に限らず、目標に向かって努力し続けることや人との関わり方、礼儀などを大学で学べたことで、生徒たちにも実感をもって伝えられています。

音楽や社会で役立つ力を幅広く学べる武蔵野音大で、仲間と一緒に充実したキャンパスライフを送ってください。



夢に向かって羽ばたく新卒業生



ヤマハ音楽教室 システム講師

武蔵野音大生として学んだ大切な時間を活かし
音楽の楽しさを伝える仕事へ

武蔵野で過ごした4年間では、憧れの恩師や素晴らしい先生方、ともに音楽を学ぶ仲間たちのご縁に恵まれ、音楽を続けられる喜びを感じながら充実した大学生活を送ることができました。主科のレッスンではきめ細やかな指導のもと、自分の音楽を表現するための奏法や技術を磨き楽曲と向き合いました。専攻に加えてずっと興味を持っていたチェンバロ演奏法を学ぶことができ、より音楽に深みが出来るようになったように感じています。これまで培った音楽を根底に、得た経験や学びを活かして、今後は音楽の楽しさや素晴らしさをたくさんの子供も達へ伝えていく側として努力を惜みず、音楽とともに楽しみながら尽力してまいります。

日野 栞
2024年卒 ピアノ（横浜市立戸塚高等学校出身）



東京都教員採用試験合格

武蔵野音楽大学での学びで見つけた
自分の新たな道

大学では、専攻のヴァイオリンの演奏法や合奏などについて学ぶと共に、幅広い分野の講義を受講し有意義な経験を重ねることができました。そのような学びの中で、音楽を教える立場に立つことを志望するようになり、教職の道へ進むことを決意しました。自分の進路を決めてからは、教員採用試験の受験のための勉強に留まらず、教職に就いた後のことについても経験者の先生方から多くを教わることができました。音楽が好きな生徒を一人でも増やすために、学んだ全てを生かして、音楽大学で再認識した音楽の魅力を生徒たちに精一杯伝えていきたいと思っています。

高梨 玲
2024年卒 ヴァイオリン（武蔵野音楽大学附属高等学校出身）



株式会社村松フルート製作所

表現者として培ったスキルを活かし
今度は支える側に立つ

私はフルートを製作する職に就くことを志し、長らく夢を追い続けてきました。大学ではレッスンやフルートオーケストラ、ウィンドアンサンブルなど様々な授業を通して楽器への理解を深めていくことができました。より良い楽器を作るためには、様々な分野の専門知識を蓄えるだけではなく、演奏技術を磨いて感覚を養うことも重要であると感じております。演奏家にとって命となる楽器の制作に携われることがどれほど名誉あることか、その重みを理解し、国産楽器のさらなる品質向上に努めるとともに、一層の音楽文化の発展に貢献していきたいです。

能崎 怜花
2024年卒 フルード（東邦音楽大学附属東邦第二高等学校出身）



ヤマハ株式会社

音楽大学の恵まれた環境で培った
専門性と人間性

武蔵野では自分の専攻以外にも指揮や和楽器など様々なことを学ぶことができ、それらを学んで得た専門性から一つひとつの役割の大切さや伝統を感じました。また、同じ専攻の仲間や、仲間との演奏会を通じて得るものも多く、人間的に成長できたと思います。そして専攻のレッスンでは、先生が自分には足りない部分を丁寧に優しく、ソロやオーケストラで演奏する際に必要な多くのことを教えてくださいました。卒業後はさらに楽器の知識をつけ、一つでも多く良い楽器を作り、また吹奏楽団で音楽家としても成長できるように日々精進してまいります。

奥野 雄大
2024年卒 トロンボーン（富山県立富山工業高等学校出身）

株式会社シアターワークショップ

多くの出会いに感謝して
芸術が持つ素晴らしさを世界中に

大学で過ごした4年間は、素晴らしい先生方や友人に囲まれて毎日充実した日々でした。私の在籍していたアートマネジメントコースでは、劇場・ホールの運営や管理、舞台照明・音響、仲間たちと創り上げる企画制作公演等、実践に直結した幅広い内容を、業界の第一線で活躍している講師の方々から学ぶことができました。また在学中には実技試験やコンサート、学外での音楽活動等を通して、音楽や芸術が持つ素晴らしさを改めて実感することができました。今後は、大学生活で得た経験と学びを活かし、芸術が持つ魅力を世界中に届けることを目標に、努力を重ねていきたいと思っています。

栗原 崇
2024年卒 アートマネジメント（志学館高等部出身）



学校法人 清明学園 清明学園 中等部

かけがえのない日々の学びが
夢への挑戦を後押ししてくれた

大学では、主科の声楽に加えて、ピアノや指揮、音楽教育学なども学び、充実した日々を過ごしました。中でも、憧れの先生との個人レッスンや模擬授業などの実践を通して、音楽の素晴らしさを再認識し、教師になるという夢をさらに深めることができたと感じています。4年間支えてくださった先生方、そして、同じ夢をもつ友人に出会えたことは、かけがえのない財産です。卒業後も大学での学びを活かして、生徒一人ひとりの個性やよさを見つけ、音楽が好きな生徒だけでなく音楽が苦手な生徒とも一緒に学び合えるような教育者になりたいと思っています。

永井 日記
2024年卒 音楽教育（東京都立田園調布高等学校出身）

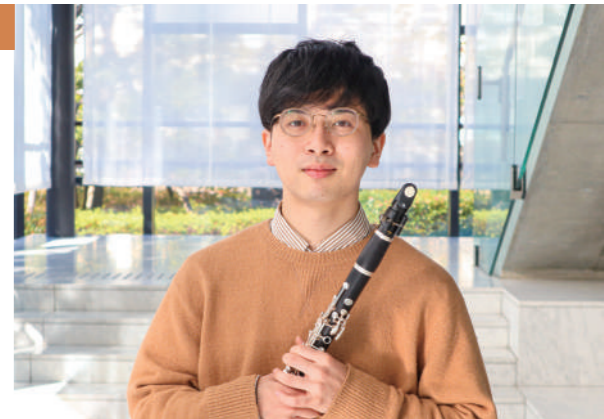


陸上自衛隊音楽隊（クラリネット奏者）

武蔵野で得た経験を活かし
音楽を届ける仕事へ

大学では自分の専攻だけでなくウィンドアンサンブルや室内楽の授業など、さまざまな形で音楽を学ぶことができました。特にウィンドアンサンブルでは演奏旅行を含めた多くの本番を経験でき、実りの多いものでした。また学内で行われる招待演奏や講師陣によるコンサート、選抜学生による演奏などは本当にどれも素晴らしく、先生や友人と過ごす大学生活には沢山の発見や学びがあり、とても素直で充実したものでした。これからも武蔵野で得た経験や知識を活かし、より多くの人に感動して貰える演奏を目指して、日々努力を重ねていきたいと思っています。

佐竹 剛希
2024年卒 クラリネット（秋田県立湯沢高等学校出身）



学費・奨学金等

初年度学費等納入金

2025年度

学科・コース		学費			後援会費	納入金合計
		入学金	授業料	施設費		
演奏学科	器楽・声楽コース	150,000円	1,390,000円	670,000円	10,000円	2,220,000円
	ヴィルトゥオーソコース	150,000円	1,490,000円	670,000円	10,000円	2,320,000円
音楽総合学科		150,000円	1,360,000円	670,000円	10,000円	2,190,000円

※教育職員免許状や学芸員の資格取得を希望する場合は、上表の他に、各課程の聴講料等が必要となります。

※個人練習楽器を借用する場合には、その借用料を納入する必要があります。

※個人が使用する教材(楽譜、教科書、特殊ソフト等)については、個人負担になります。

※音楽教育コース、アートマネジメントコースでは、ICT(情報通信技術)の活用を推進するため、パソコンの必携化に取り組んでいます。

福井直秋記念奨学金

本学独自の奨学金制度を大幅に拡充。

「福井直秋記念奨学金」とは、学業、人物ともに優れ、向学心あふれる学生に与えられる、**返還義務の無い**奨学金制度です。

新制度では、学修サポート体制をなお一層充実させるため、「年間授業料全額+施設費全額相当」「年間授業料1/4相当」の給付区分を新設、さらに、新入生、在学生ともに奨学金給付者数を大幅に増員しています。

■ 入学時(音楽学部1年次)対象

種類	対象区分	対象学年	給付額	給付者数
特別給費奨学金 (特待生)	音楽学部	新入学生(1年次)	年間授業料全額相当 (内1名は施設費全額相当も給付)	3名
			年間授業料半額相当	2名
			年間授業料1/4相当	3名
給費奨学金	同上	同上	入学金相当	32名程度
				計40名程度

■ 入学後対象

種類	対象区分	対象学年	給付額(年額)	給付者数
特別給費奨学金 (特待生)	音楽学部	2~4年次	年間授業料全額相当 (内3名は施設費全額相当も給付)	5名
			年間授業料半額相当	3名
			年間授業料1/4相当	9名
給費奨学金	音楽学部	2~4年次	15万円	30名程度
	大学院修士課程	1~2年次	20万円	16名程度
特別成果給費奨学金	音楽的・学術的または社会的な活動において特に顕著な成果をあげた学生	全学年	30万円	若干名
緊急給費奨学金	家計の急変により、学業継続が困難になった学生	全学年	最高20万円	数名
				計70名程度



福井直秋記念奨学金 奨学生のコメント

大宮 みゆら

演奏学科 ヴィルトゥオーソコース 声楽専攻2年
常盤木学園高等学校出身

この度は新入生対象の特別給費奨学金受給生に採用していただき、この場をお借りして心より感謝申し上げます。私は武蔵野音楽大学で積極的に音楽に打ち込みつつ多くの経験を積み、音楽技術・知識を深めていきたいと考えております。また、声楽を学ぶ上でとても重要となる語学力もともに力を入れていきたいと思っております。その中でこのようにサポートをして下さること、大変嬉しく思います。私は家族をはじめとするたくさんの方々を支えられ勉学に励むことができいております。そのことへの感謝を忘れず謙虚に自己研鑽に励んでいく所存です。今後も日々精進してまいりますので、ご指導よろしくお願いたします。

日本学生支援機構奨学金

「日本学生支援機構奨学金」とは、経済的事情により修学が困難な学生に貸与または給付される、国の奨学金制度です。この奨学金の目的は、将来社会に貢献する人材育成であり、無利子で貸与される「第一種奨学金」と、有利子で貸与される「第二種奨学金」、および「給付奨学金」があります。なお、「第一種奨学金」「第二種奨学金」を受けた奨学生は、社会人になってから返還する義務があります。

経済的負担を軽減するためのさまざまな特典



■ 外国人客員教授のレッスンは無料
多くの客員教授(外国人)が着任し、長期間あるいは短期間のレッスン、講座などを行います。これらの受講料はすべて無料です。



■ 演奏会、公開講座の入場料は無料、また、出演・参加費用も無料
学内外の音楽家や学生による演奏会、公開講座などを活発に実施しており、在学生の入場は無料です。また、これらの催しへの学生の出演・参加も無料です。



■ 就職・進学希望者のためのセミナーや講座の受講料は無料
就職や進学のためのセミナーや講座等は無料で受講することができます(少額の資料代がかかる場合があります)。



■ 演奏旅行への参加は無料
国内外でオーケストラ、ウィンドアンサンブルなどの演奏旅行を実施しますが、学生の出演、参加費用は全額大学が負担します(ただし海外演奏旅行のみ、一部参加者負担)。

■ オーディション等による選抜者の授業は無料

本学では室内楽、伴奏法、指揮等、多くの科目の授業を開講し、オーディション等により履修者を選抜していますが、これらの受講料はすべて無料です。

■ 休学・留年の場合の学費軽減

半年以上休学する場合は、授業料と施設費を減額します。また、履修単位がわずかに不足し、留年、卒業保留となった場合は、不足単位数に応じて授業料を減額します。

■ 授業料等減免(高等教育の修学支援新制度)

2020年4月から国の「高等教育の修学支援新制度」が始まり、本学はこの制度の対象校となりました。日本学生支援機構「給付奨学金」に申請し、採用された学生は入学金および授業料の減免対象となります。

■ 学生保険は大学が負担

本学では全学生が「学生教育研究災害傷害保険(通学中等傷害危険担保特約含む)」に加入しますが、加入費用は、大学が負担します。

■ 災害の場合の授業料減額

地震や風水害などの自然災害により自宅に甚大(半壊以上)な被害を受け、公的機関の証明書が提出された場合は、その年度の授業料を一部減額します。

■ 兄弟姉妹が2名以上在籍する場合の入学金相当額免除

同一年度に2名以上の兄弟姉妹が本学園の大学院、大学、附属高等学校、幼稚園に在籍する場合は、その新入生の入学金相当額を免除します。また、兄弟姉妹が同時に入学された場合は、原則として、そのうち1名の入学金相当額を免除します。

■ 外国人留学生学生生活支援金

本学では、学業に精進している外国人留学生全員に対して、年額15万円を支援する制度を設けています。なお、福井直秋記念奨学金を重複して受給できます。

免許・資格

教員免許課程

教員免許課程において必要な単位を修得することで、中学校教諭一種免許状(音楽)と高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得することができます。

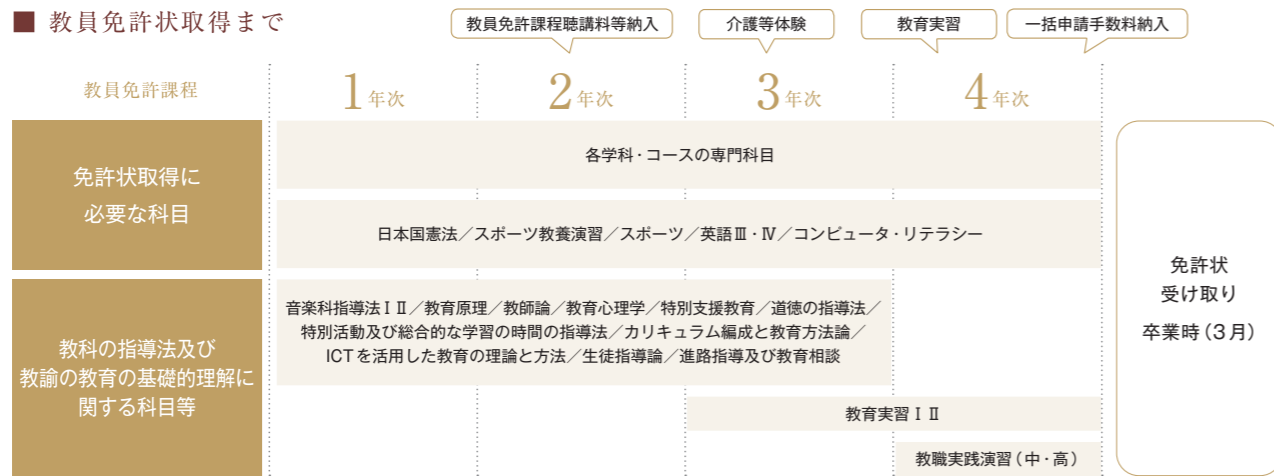
本学では教育方針として「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を掲げていますが、これを礎として多くの卒業生が教職に就いて活躍し、日本の音楽教育の発展に寄与してきました。現在も全学生の約7割が教員免許課程を履修しています。本学が開設する教員免許課程では、専門的な知識・技能とともに豊かな人間性を備えた教育者の育成を目指しています。

取得できる免許状の種類と教科

中学校教諭一種免許状(音楽)・高等学校教諭一種免許状(音楽)

※上記免許状を取得した者が大学院に進学し課程を修了した場合、中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)を取得することができます。

教員免許状取得まで



小学校教員免許状取得について

教員免許課程を履修する学生を対象に、明星大学通信教育課程との提携により、小学校教員免許状を取得する道が開かれています。本学の課程に加え、明星大学通信教育課程のスクーリングや通信教育を受講することで、小学校教諭二種免許状が取得可能です(編転入学者を除く)。

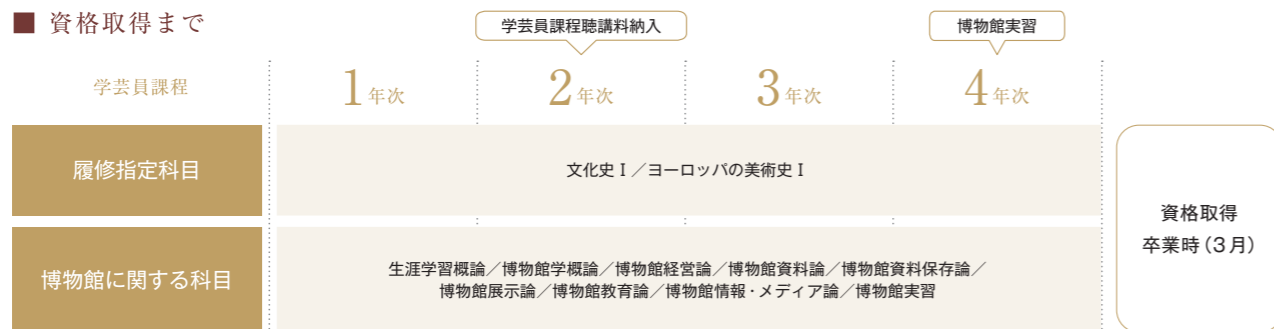
学芸員課程

学芸員とは博物館法に基づいた専門職のことであり、博物館や美術館等で資料の収集、保管、展示および調査研究等に携わることができます。本学が開設する学芸員課程では、文部科学省令の定める博物館に関する科目の単位を修得することで、学芸員資格を取得することができます。

取得できる資格

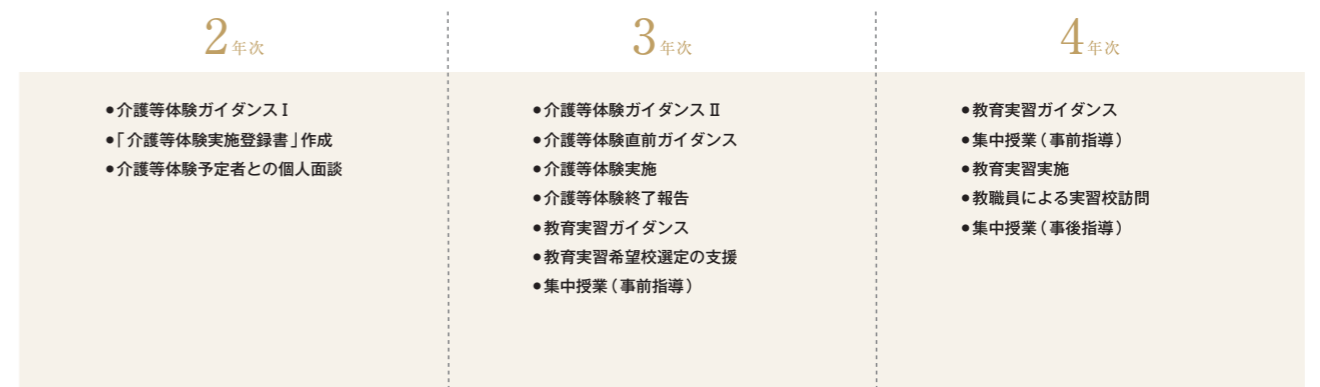
学芸員資格

資格取得まで



学生サポート

教員免許課程サポート



上記の表で示すように、本学では介護等体験や教育実習に備え、それらを実施する約1年前からさまざまな内容のガイダンスを重ねています。そして、職員が早い段階から実施直前まで学生と個人面談を行い、一人ひとりのニーズに合った対応をしています。さらに、教育実習直前には、「指導案作成の仕方(中学・高校、公立・私立などクラス分けをして指導)」、「合唱指導法」、学内講師・外部講師による「集中授業」等を行っています。また、教職員が事前に実習に向かう学生と面談を行った後、日本全国すべての実習校を訪問するなど、学生が実習校で十分成果が発揮できるよう、きめ細かいサポートを行っています。



学芸員課程サポート

本学が開設する学芸員課程の「博物館実習」は、通常の講義とともに、社会教育施設での実務実習を行います。実習は、日本最大の所蔵数を誇る本学の楽器ミュージアムで行われますが、希望する学生は学外の施設(美術館・博物館などの文化施設)で行うことも可能です。音楽を中心とした芸術文化をより深く理解するとともに、社会教育施設での実践力を身につけられるようにサポートを行っています。

カウンセリング制度・オフィスアワー

本学では専任教員及び専門資格を持つ心理カウンセラーが学生の相談に応じています。内容は学修、健康、就職など、広範多岐にわたっています。また、授業科目の内容や勉強方法などの質問や相談について、専門科目、外国語科目、教養科目を担当する専任教員が個々に対応するオフィスアワーもあり、学生は必要に応じて随時利用することができます。

学生レジデンス ^{フリューゲル} Flügel (女子学生寮)

2024年、新たな女子学生寮が誕生しました。キャンパスから徒歩3分以内に位置し、全室個室のためプライバシーが確保されます。朝夕の食事付き、寮内の練習室が利用可能など、さまざまな充実した体制・設備のもと寮生活をサポートします。セキュリティも万全で、安心して充実した寮生活を送ることができます。仲間との交流を大切にしながら、ともに音楽を学ぶ友人との生活は人間関係を深め、社会人として必要な協調性やコミュニケーション能力を大きく伸ばすことができます。



▶詳細は4ページをご覧ください。



入学者選抜ガイド [音楽学部 第1年次]

～武蔵野音楽大学へつづく3つの入学者選抜～

総合型選抜 [第1回・第2回・第3回・第4回]

ヴィルトゥオーゾコースと器楽コースまたは声楽コースの併願が可能。

・必ずヴィルトゥオーゾコースを第1志望とし、器楽コースまたは声楽コースは第2志望になります。

- 募集定員：90名
- 試験期間：【第1回】2024年9月21日(土)、9月22日(日) 【第2回】2024年10月26日(土)、10月27日(日)
【第3回】2024年12月14日(土)、12月15日(日) 【第4回】2025年3月16日(日)、3月17日(月)

- 出願資格：次のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者(2025年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②その他、学校教育法第90条に規定された者
※本学を専願とすることを条件としません(併願も可能)。
※第4回ではヴィルトゥオーゾコースの募集は行いません。

学校推薦型選抜(指定校)

ヴィルトゥオーゾコースと器楽コースまたは声楽コースの併願が可能。

・必ずヴィルトゥオーゾコースを第1志望とし、器楽コースまたは声楽コースは第2志望になります。

実力認定試験(楽典)の利用も可能。^{*}

- 募集定員：120名
- 試験期間：2024年11月23日(土・祝)、11月24日(日)
- 出願資格：本学が指定する高等学校の学校長が推薦し、2025年3月卒業見込みの者
※本学を専願とすることを条件とします。

・受験にあたり、出願者が修得している音楽に関する科目の単位数により、高等学校を「普通高校」と「音楽高校」に区分しています。

区分方法の詳細は学校推薦型選抜(指定校)の要項を確認してください。

※受験講習会で実施する「楽典」の実力認定試験に合格した場合は学校推薦型選抜の「楽典」を受験免除とすることができます。

一般選抜 [A日程・B日程]

実力認定試験(楽典)の利用も可能。^{※1}

大学入学共通テストの利用も可能。^{※2・※3}

- 募集定員：90名
- 試験期間：【A日程】2025年2月18日(火)～2月21日(金)
【B日程】2025年3月5日(水)～3月7日(金)

- 出願資格：次のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者(2025年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②その他、学校教育法第90条に規定された者
※本学を専願とすることを条件としません(併願も可能)。

※1 受験講習会で実施する「楽典」の実力認定試験に合格した場合は一般選抜の「楽典」を受験免除とすることができます。

※2 「国語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するかのいずれかを選択できます。なお、大学入学共通テストの「国語」については古文、漢文を除いたものとします。

※3 「外国語」のうち「英語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テスト(リーディングとリスニング)の成績を利用するかのいずれかを選択できます。また、大学入学共通テストを利用する場合、英語の他にドイツ語、フランス語での受験も可能です。

外国人留学生入学試験

- 募集定員：若干名
 - 試験期間：2024年12月7日(土)、12月8日(日)
- ※試験科目、出願資格等詳細は本学ウェブサイトおよび入学試験要項をご確認ください。

その他の入学試験(学部3年次編入・転入、大学院等)については本学ウェブサイトおよび入学試験要項をご確認ください。

入学者選抜についてのお問い合わせ 入学者選抜事務室 TEL.03-3992-1119

各種要項の郵送をご希望の方は、本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。

入学者選抜 試験科目(外国人留学生入学試験を除く)

専攻実技課題等の詳細は入学者選抜要項でお確かめください。

※1 受験講習会で実施する「楽典」の実力認定試験に合格した場合は入学者選抜の「楽典」を受験免除とすることができます。

※2 「国語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するかのいずれかを選択できます。なお、大学入学共通テストの「国語」については古文、漢文を除いたものとします。

※3 「外国語」のうち「英語」については本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テスト(リーディングとリスニング)の成績を利用するかのいずれかを選択できます。また、大学入学共通テストを利用する場合、英語の他にドイツ語、フランス語での受験も可能です。

コース名	専修等	総合型選抜			学校推薦型選抜(指定校)					一般選抜					
		書類審査	面接	専攻実技	普通高校			音楽高校		楽典 ^{※1}	国語 ^{※2}	外国語 ^{※3}	面接	専攻実技	副科ピアノ
					楽典 ^{※1}	面接	専攻実技	面接	専攻実技						
ヴィルトゥオーゾコース	ピアノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パイプオルガン														
	管楽器														
	打楽器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	弦楽器														
器楽コース	ピアノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パイプオルガン														
	管楽器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	打楽器														
弦楽器															
	声楽														
声楽コース															

音楽総合学科

コース名および履修システム	総合型選抜							
	書類審査	面接	課題小論文	口頭試問	作品提出	プレゼンテーション	論文提出	実技
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	—	—	—	—
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	—	—	○	○	—
	音楽学コース	○	○	○	○	—	—	○
	音楽教育コース	○	○	○	○	—	—	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	—	—	—

コース名および履修システム	学校推薦型選抜(指定校)										
	普通高校						音楽高校				
	楽典 ^{※1}	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—
	音楽学コース	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—
	音楽教育コース	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—

コース名および履修システム	一般選抜								
	楽典 ^{※1}	国語 ^{※2}	外国語 ^{※3}	面接	課題小論文	口頭試問	作曲専攻課題	実技	副科ピアノ
オープンメジャーシステム	○	○	○	○	○	○	—	○	—
フィックスメジャーシステム	作曲コース	○	○	○	○	—	○	○	—
	音楽学コース	○	○	○	○	○	—	○	—
	音楽教育コース	○	○	○	○	○	—	○	○
	アートマネジメントコース	○	○	○	○	○	—	○	—

○印=受験科目

2024年度 講習会・イベント情報

オープンキャンパス

音楽大学ってどんなところ？見て、聞いて、体験してみよう！

5/12(日)	6/16(日)	7/14(日) 大学院進学説明会 同日開催	8/4(日)
9/8(日)	10/20(日)	2025 3/23(日)	

会場	江古田キャンパス
参加費	無料(要事前申込)
実施内容	大学紹介、体験レッスン、キャンパスツアー、学生によるコンサート、体験授業、進学相談 など ※実施内容は各回で異なります。詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

大学受験講習会

夏期	冬期
I期:2024年8月7日(水)～8月9日(金) II期:2024年8月23日(金)～8月25日(日)	2024年12月24日(火)～12月26日(木)
秋期	春期
2024年9月15日(日)・9月16日(月・祝)	2025年3月28日(金)～3月30日(日)

会場	江古田キャンパス
開講科目	・実技レッスン ・楽典 ・課題小論文
※詳細は本学ウェブサイトまたは講習会要項でご確認ください。 (夏期講習会要項:4月発行/秋期講習会要項:7月発行/ 冬期講習会要項:10月発行/春期講習会要項:2月発行)	

「楽典」の実力認定試験がスタート！

夏期、秋期、冬期の受験講習会では、最終日に「楽典」の実力認定試験を実施します。合格した場合は、入学選抜の「楽典」を受験免除とすることができます。詳細は講習会要項でご確認ください。

入学者選抜直前対策

期日	2025年1月26日(日)	実施内容	・入学者選抜説明会 ・受験対策講座(楽典、課題小論文、口頭試問) ・試験体験(試験会場での試演、模擬面接) ・個別相談
対象	高校3年生/受験生/保護者	※詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。	
会場	江古田キャンパス		
参加費	無料(要事前申込)		

■ 各イベントに関するお問い合わせ
入学センター TEL.03-3992-2500

参加のお申し込みは、本学ウェブサイト内の専用申し込みフォームをご利用ください。

武蔵野音楽学園公式SNS

本学公式SNSでは演奏会やイベント情報などを発信しています。

LINE公式アカウント	YouTube	X	Facebook	Instagram

学校説明会 & 体験レッスン

全国各地で本学の学校説明会&体験レッスンを開催します！

対象	小中高生、受験生、指導者、教員、保護者	※実施内容は開催地によって異なります。
内容	大学紹介(ガイダンス形式)、体験レッスン、本学教員によるミニコンサート、進学相談	※学校説明会&体験レッスンの開催会場およびレッスン実施専攻等の詳細は、本学ウェブサイトでご確認ください。
参加費	無料	

北海道地方	北海道函館市 5/26(日)	北海道札幌市 6/30(日)	東北地方	福島県郡山市 6/23(日)	宮城県仙台市 7/7(日)
関東地方					
群馬県高崎市 6/9(日)		神奈川県川崎市 6/29(土)			
中部地方					
愛知県名古屋市 5/19(日)	石川県金沢市 6/2(日)	長野県松本市 6/9(日)	静岡県静岡市 6/23(日)		
中国地方		四国地方		九州地方・沖縄地方	
岡山県岡山市 5/25(土)		香川県観音寺市 7/7(日)		熊本県熊本市 5/18(土)	福岡県福岡市 6/2(日)

ステップアップ・プログラム

ピアノ・声楽	10月6日(日)/12月1日(日)/2025年2月23日(日)	会場	江古田キャンパス
管楽器・打楽器・弦楽器	9月29日(日)/11月17日(日)/2025年2月16日(日)	参加費	有料(要事前申込)
		実施内容	60分間の個人レッスン、個別相談(希望者のみ)
※参加費および実施内容の詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。			

江古田キャンパスアクセス

西武池袋線【江古田駅】北口から徒歩4分
西武有楽町線【新桜台駅】4番出口から徒歩4分
東京メトロ有楽町線/副都心線【小竹向原駅】2番出口から徒歩9分
〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1 TEL.03-3992-1121(代表)

武蔵野音楽大学ウェブサイト
https://www.musashino-music.ac.jp/